

Rotary
District 2680



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2017-18

No. 1 | JULY 2017

GOVERNOR

Yoshinobu Takikawa

OFFICE

6F Hyogo Toyota Bldg., 4-2-12,
Isobe-dori, Chuo-ku, Kobe, Hyogo,
651-0084 Japan



The Four-Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

本年度の表紙

今年度表紙は、神戸開港150周年もあり神戸各所を絵画にて掲載いたします。
絵画提供：今津成生会員（神戸西）

瀧川ガバナーより「月信の表紙絵を頼みたい」とのご指示をいただきました。
谷水ガバナー時の表紙絵を描かせていただいております、重ねてのご指示をいただきましたので、神戸のハイカラの源泉である旧居留地の建物をはじめとして、異人館や近代洋風建築を、拙いタッチではありますが描いて参りました。
ご覧いただければ幸いです。 今津成生(神戸西)

❖今月の表紙

「海岸通」

神戸のハイカラの源流である旧居留地の海岸通り。現在は現代的なビル群に変わってきている。

CONTENTS

月信1号

RI会長メッセージ	1
ガバナー就任にあたって	2
直前ガバナーへの謝辞・ガバナープロフィール	3
会長賞	4
ガバナー公式訪問日程表	6
公式訪問に関するお願い	7
RI関係・地区への送金および報告	8
主要行事予定	9
地区内ロータリークラブ住所録	10
ガバナー補佐とクラブ会長・幹事紹介	12
地区組織表①委員長・副委員長	19
地区組織表②委員長・副委員長・小委員長	20
文庫通信・7月地区活動予定	23
ガバナー事務所からのお知らせ	24
地区組織表①	25
地区組織表②	27

2017年地区研修・協議会

プログラム	30
部門別分科会一覧表	31
ガバナー挨拶	32
RI理事ノミニー挨拶	33
2017-18年度RIテーマと地区活動方針	34
2017-18年度ガバナー諮問事項	37
次期地区研修リーダー講話	40
次期規定審議委員長講話	42
ロータリー財団学友講演	43
よねやま親善大使講演	44
部門別分科会	
会長部門	49
幹事部門	50
クラブ管理運営部門	51
増強拡大部門	52
職業奉仕部門	53
社会奉仕部門	54
国際奉仕部門	55
青少年奉仕部門	56
ロータリー財団部門	57
米山記念奨学部門	58
ガバナー所感	59
出席報告(2017年5月末)	



ロータリー： 変化をもたらす



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

数年前、知り合った人からある質問をされました：「ロータリーとは何ですか？」シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました。どこから説明してよいか分からなかったのです。ロータリーとは何かを、私が知らなかったわけではありません。問題は、ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。

ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって。

組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をやるのかを世界に理解してもらうことが、いかに重要であるかを認識しています。同時に、各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。

イアン H. S. ライズリー
2017-18年度国際ロータリー会長

Profile

イアン・ライズリー 氏

Sandringham ロータリークラブ所属。オーストラリア（ビクトリア州）出身。公認会計士。1976年に自身が設立したIan Riseley & Co.の社長。同社設立以前は、大手会計事務所や企業の監査および経営コンサルティング部門に勤務。私立・公立学校の理事、サンドリンガム市諮問グループのメンバー、Beaumaris Sea Scouts Groupの会長、Langi-Taanスキークラブの会長などを務めた経験があり、現在は多くの慈善団体で名誉監査人やアドバイザーを務めている。東チモールでの活動を称えられてオーストラリア政府より「AusAID Peacebuilder Award」を受賞。オーストラリアの地域社会への貢献が認められてオーストラリア勲章を受勲。また、ロータリー財団からは「ポリオのない世界のための奉仕賞」の地域賞を受賞。1978年にロータリークラブ入会。RI財務長、理事、数々のRIおよび財団委員会の委員長と委員などを歴任。バスタガバナーであるジュリエット夫人とともに、メジャードナーおよびロータリー財団遺贈友の会会員。お二人のお子さんと4人のお孫さんがおり、ムアルダックにある自宅の7ヘクタールの敷地では、持続可能で有機的な生活哲学を実践している。

クラブ会長 様
クラブ幹事 様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 瀧川 好庸 (神戸西)

ガバナーノミニー、エレクトとしての勤めを何とか果たし、いよいよガバナーに就任する日がやってまいりました。

この一年、2680地区のすべての会員の皆様と共に歩んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

クラブから地区を眺める、地区からクラブを見つめる。そこにはかなりの温度差があるように感じます。

ガバナーノミニー就任以前は、地区の青少年奉仕委員会には名を連ねてはいましたが、あくまでも、クラブ主体の活動に日々を費やしておりました。しかし、打って変わり地区が中心の日常となると、地区活動の濃厚かつ繊細性に驚きを隠せませんでした。そしてロータリー、ロータリー、ロータリーと……。

しかし、ロータリー活動はあくまでもクラブが主体です。ロータリアンの本籍はクラブにあるわけですから、地区委員の皆さんは地区で学び、地区での貴重な体験を是非クラブに持ち帰ってクラブの発展に貢献してください。各クラブの発展こそが地区の発展、飛躍の原点であります。また、クラブ会員の皆様も地区セミナー等にできる限り出席をいただき、ロータリーの本質を学んで欲しいとお願いいたします。

ガバナーに就任するにあたり、ガバナーエレクトが招集する事業としての、補助金管理セミナー、地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会リーダー会議、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会、地区会員増強セミナーの6大事業も、中村地区

研修リーダーをはじめとする研修委員会と担当委員会の綿密なる計画にて滞りなく終了いたしました。

エレクト年度には室津ガバナー、矢野ノミニーと三者の合意形成を中心として、今後の事業を展開し、地区の運営も継続性を持たせることとなりました。ガバナー事務所も縦割りとして、ガバナー、エレクトとの事務の合理性を高めることができました。

イアン H. S. ライズリー2017-18年度RI会長のテーマは「Rotary: Making a Difference」「ロータリー：変化をもたらす」です。各クラブの会長、幹事の皆様、どうかこのテーマを念頭において、素晴らしく、輝かしく、実り多い年度としていただくことを切に願う次第です。

ガバナー独り語

クラブにいるときは、今から考えると「井の中の蛙」状態でした。地区に出ると、ロータリーは人材の宝庫と感じます。2時間以上もかけて委員会に出席、その後懇親会に。その懇親会の談論風発の中身はもっぱらロータリー談話。まさに、熱中ロータリーアンそのもの！

私も今やロータリー漬けを食し、日夜ロータリーに励み、熱中ロータリアンを友として充実した毎日です！（笑）

我が地区にはご健康で経験豊富な多くのパストガバナーがいらっしゃり、優秀なガバナー補佐さん、熱血な地区委員、委員長。そして縁の下にはホストクラブのメンバーと幹事団。締めくくりはガバナー事務所の才媛達。皆々様、何卒より一層のご支援、ご協力を心よりお願いいたしますね。

室津義定直前ガバナーに感謝

ガバナー 瀧川 好 庸 (神戸西)

室津直前ガバナーと最も親しく言葉を交わしたのは、南あわじ市の国立青少年交流の家で開催された、インターアクト地区年次大会からの帰途であった。

車で行っていた私は、帰りはバスだとおっしゃる室津エレクト(当時)に、よければ三ノ宮までご一緒いただけますか、とお誘いしたのだった。

この道中、2時間ほど、ロータリーの話以外しなかった記憶がある。しかもそれは、地区にかかわるようになって日の浅い私が抱いていた様々な疑問を先輩に投げかけ、それに室津エレクトが答えるという形式であった。

特に話の中心になったのが、地区の様々な面の在り方で、改善できるところがあるのではないかということであった。

そののちも、酒豪で飲めば飲むほど頭脳明晰になり、あたりを払う大音声で自説を披瀝される室津エレクトに、酒の飲めない私は、ウーロン茶なんかをちびちびやりながら、いささか辟易し、周りの客に気を使いながら、ごもつとも、ごもつとも、もつばらお説を拜聴するのみであった。

おっしゃることは正鵠を射ていて、まさに正論なのだが、元来が頑固な質で直情径行のところもおありで、他の人たちとも遠慮なくぶつかることになる。が、しかし、このブルドーザーは頑丈だ。なぎ倒していく。軟弱な私など、眩しくて、ただただ仰ぎ見るのみであった。

その代表例が、青少年交換は制度不備を理由に、中止を宣言されたことだ。

いろいろ紆余曲折はあったが、結果的には急ピッチで制度の整備は進捗し、本年度は曲がりなりに実施に漕ぎつけることができた。整備が整う方向に向かったのは、室津ガバナー(当時)の面目躍如だ。航空工学の博士だけあって、整備不良では、テイクオフ!とは命じられないのだ。

室津、瀧川、次期の矢野と三世代のガバナーが同一事務所で、事務員も合同でとの話になったのも、ガバナーとのあの淡路縦断ドライブの結果だ。

いろいろと学ばせていただきました。これからもいろいろ相談にのってください。一年間お疲れ様でした。心からの感謝を込めて。



Governor Profile 瀧川好庸・プロフィール

■略 歴

職業分類：中等教育
生年月日：1942年9月11日

1965年 上智大学外国語学部卒業
1965～67年 フランス留学
1970年 上智大学大学院文学研究科、フランス文学専攻修士課程修了、上智大学文学部助手
1972～91年 聖心女子大学非常勤講師
1985～92年 上智大学文学部教授
1990～08年 学校法人瀧川学園理事長
2014年～現在 学校法人瀧川学園理事長
2006年～現在 公益財団法人かめのり財団評議員
2017年～現在 公益社団法人兵庫県私学振興協会常務理事

■ロータリー歴

1991年10月 神戸西ロータリークラブ入会
1998～99年度 幹事
2005～06年度 会長(創立50周年)
2007～13年度 米山奨学生カウンセラー
2007～15年度 地区青少年奉仕委員会インターアクト小委員会委員
2015～16年度 神戸第2グループガバナー補佐
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

受賞資格

ロータリー戦略計画の3つの優先項目（クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、ロータリーの公共イメージと認知度の向上）とかかわる目標を達成するクラブは、発展し、地域社会に変化をもたらします。

今年度の会長賞は、これらの優先項目を支える活動をしたクラブを表彰するものです。受賞基準となっている項目は、2017年7月1日～2018年6月30日の間に達成する必要があります。

多くの項目の達成状況は、RIデータベースを用いて国際ロータリーが自動的に確認できるものです。ただし、一部の項目については、国際ロータリーで達成状況を確認するために、クラブがロータリークラブ・セントラル、ロータリーショーケース、ロータリーアイデア応援サイトを通じて情報を入力する必要があります。

必須活動

- 2017年7月と2018年1月のクラブ請求書の支払いを遅延なく行う。
- ボランティアに費やした時間と奉仕プロジェクトへの支援を、ロータリークラブ・セントラルで報告する。これにより、世界中でロータリーが与えた影響を測り、広報に活用できる。

クラブのサポートと強化

さまざまな考え方や経験をもつ会員がいれば、クラブに新鮮なアイデアがもたらされ、地域のニーズを幅広い角度から理解できます。クラブが地元や世界に変化をもたらすには、会員の積極的参加を促し、そのスキルと関心を生かし、会員の声をクラブの未来に反映させていくことが大切です。クラブの会員基盤を広げ、多様な会員を増やし、積極的な参加を促しましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定する。

- クラブの戦略計画を更新または立案する。達成をロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 会員数の純増：ロータリーの記録上、2017年7月1日と比べ、2018年7月1日時点で、会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の会員純増を達成する。
- 女性会員の純増：会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 40歳未満の会員の純増：（1977年7月1日よりも後に生まれ、2017年7月1日～2018年7月1日に入会した会員が対象）会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 例会以外の活動に会員が参加する。ロータリークラブ・セントラルに、クラブの親睦活動を少なくとも1つ入力するか、50%を超える会員がクラブの奉仕活動に参加したことを記録する。
- 地域社会におけるロータリーの影響を広げるために、新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊（RCC）を提唱（または共同提唱）する。RCCを提唱するには、ロータリー地域社会共同隊結成書式に記入し、RIに提出する必要がある。新しいロータリークラブを提唱する場合、新クラブが設立申請書を提出する際に提唱ロータリークラブ名がRIに報告される。
- 若い人のロータリーへの参加を促すため、インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱（または共同提唱）する。報告方法：インターアクト／ローターアクト提唱（共同提唱）書式を interact@rotary.org または rotaract@rotary.org に提出する。

人道的奉仕の重点化と増加

地元や海外での奉仕プロジェクトを通じて、クラブは世界的な人道的問題に取り組みます。これには、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地元経済の発展、環境保護、ポリオ撲滅などが含まれます。

ロータリアン、若い世代、ロータリー学友、一般の人びとに、ロータリープログラムや重点分野の活動への参加、およびロータリー財団への寄付を呼びかけ、地元や世界に変化をもたらしましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ポリオ関連の募金活動またはアドボカシー（支援呼びかけ）イベントを開催する、または、そのようなイベントに会員が参加する（リソースは endpolio.org/ja から入手可能）。報告方法：ロータリーショーケースにイベントを掲載する（カテゴリーで「ポリオ撲滅」を選択）。
- グローバル補助金または地区補助金を利用したプロジェクトを少なくとも1件提唱する。補助金に関する詳細は www.rotary.org/ja/grants を参照のこと。
- 環境に焦点を当てたプロジェクトを少なくとも1件実施する。報告方法：実施したプロジェクトをロータリーショーケースに掲載する（カテゴリーで「環境」を選択）。
- より大きな成果をもたらす、プロジェクトの幅を広げ、可視性を高めるために、地域内のほかのロータリークラブと協力する。ロータリークラブ・セントラルまたはロータリーショーケースでこのプロジェクトを報告する。
- 持続可能なプロジェクトにロータリーファミリーに参加してもらう。ローターアクター、インターアクター、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー学友に、クラブのプロジェクトや行事に参加してもらう。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- ロータリーがさらに多くの奉仕を行っていきけるよう、2016-17年度よりもロータリー財団へのクラブからの寄付を少なくとも10%増やす（日本円で計算）。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- ロータリー財団のいずれかの基金に25ドル以上を寄付する会員の数を増やす。
- 年次基金への会員一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのクラウドソーシングサイトである「アイデア応援サイト」を利用して、プロジェクトを支援するか、クラブの地元または海外でのプロジェクトへの支援を募る。

ロータリー公共イメージと認知度の向上

公共イメージが良くなれば、クラブと地域社会との関係も良くなり、入会への関心も高まります。

地元や世界に変化をもたらすクラブの活動について魅力あるストーリーを伝えることで、地域社会でクラブの公共イメージを良くし、ロータリーへの認知度を高めましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ロータリーのイメージを強化するために、クラブのあらゆるコミュニケーションに、ブランドのガイドライン、テンプレート、そのほかのリソースを使う（www.rotary.org/ja/brandcenter から入手可）。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを定期的に更新して、クラブの活動を紹介し、地元や世界でのロータリーの活動成果を伝える。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 世界ポリオデーを支援するために、地元イベントを開催し、その周知を図る。イベントを endpolio.org/ja から登録する。
- 地元の職業人、市民団体、ロータリー学友のための（ネットワークづくりのための）交流会を少なくとも1回開くことで、地域社会の人びとの参加を促す。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 1つまたは複数の企業、政府機関、あるいは非政府団体と提携し（または提携を継続し）、1つのプロジェクトで協力する。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 地元地域で重要な問題を扱った地域フォーラムまたはセミナーを開催する。このフォーラム／セミナーでは、問題への解決策を見つけるために地元の人たちを集め、クラブの活動を紹介する。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- クラブのプロジェクトやイベント、または募金活動を地元メディアに報道してもらう。ロータリーショーケースまたはロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 少なくとも1名のロータリー青少年交換学生を派遣または受け入れるか、少なくとも1名のRYLA参加者を支援することによって、平和を推進し、未来のリーダーを育成する。ロータリークラブ・セントラルで報告する。

ガバナー公式訪問日程表

日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名
7 月				8 月				9 月				10 月				11 月				12 月			
1	土			1	火	N	洲 本	1	金	N	南 淡 路	1	日			1	水	N	篠 山	1	金		
2	日			2	水	N	神 戸 須 磨	2	土			2	月	N	姫 路 南	2	木	N	尼 崎 南	2	土		
3	月			3	木	N	神 戸 西 神	3	日			3	火	N	北 条	3	金			3	日		
4	火			4	金			4	月	N	尼 崎	4	水	N	芦 屋	4	土			4	月		
5	水			5	土			5	火			5	木	N	神 崎	5	日			5	火		
6	木			6	日			6	水			6	金	N	柏 原	6	月	N	神 戸 東 灘	6	水	C'	宝 塚 中
7	金			7	月			7	木	N	龍 野	7	土			7	火	N	神 戸 ベ イ 神 戸 六 甲	7	木		
8	土			8	火	N	姫 路	8	金	N	川 西	8	日			8	水	N	尼 崎 東	8	金		HYOGO REC
9	日			9	水			9	土			9	月			9	木	C	三 田 南	9	土		
10	月			10	木			10	日			10	火			10	金			10	日		
11	火			11	金			11	月	B'	姫 路 東	11	水	N	津 名	11	土			11	月	C	神 戸 北
12	水			12	土			12	火	N	西 宮	12	木	N	淡 路 三 原	12	日			12	火		
13	木			13	日			13	水	N	高 砂 青 松	13	金			13	月			13	水	D	西宮イブニング
14	金			14	月			14	木	B	明 石 西	14	土	N	伊 丹 有 明	14	火	C	神 戸 中	14	木	A	神 戸 モー ニング
15	土			15	火			15	金	N	上 郡 佐 用	15	日			15	水	C'	あ わ じ 中 央	15	金		
16	日			16	水			16	土			16	月			16	木	C	伊 丹 昆 陽 池	16	土		
17	月			17	木			17	日			17	火	N	明 石 北	17	金	B'	明 石 南	17	日		
18	火			18	金			18	月			18	水	N	小 野 加 東	18	土			18	月		
19	水	C	尼 崎 中	19	土			19	火	N	三 田	19	木	N	姫 路 中 央	19	日			19	火		
20	木	N	神 戸	20	日			20	水	N	生 野	20	金	N	三 木	20	月			20	水		
21	金			21	月			21	木	C	神 戸 垂 水	21	土			21	火		ロータリー 研究会・ 他R行事	21	木	N	西宮恵美寿
22	土			22	火	N	神 戸 東	22	金	N	豊 岡	22	日			22	水			22	金	N	神 戸 西
23	日			23	水	N	明 石	23	土			23	月	N	西 脇	23	木			23	土		
24	月			24	木	N	加 古 川 中 央	24	日			24	火	N	川 西 猪 名 川	24	金			24	日		
25	火	N	加 古 川	25	金	N	高 砂	25	月	C'	三 木 み どり	25	水	N	加 古 川 平 成	25	土			25	月		
26	水	N	甲 子 園	26	土			26	火			26	木	N	和 田 山	26	日			26	火		
27	木	N	伊 丹 宝 塚 武 庫 川	27	日			27	水	N	相 生	27	金	N	尼 崎 北	27	月			27	水		
28	金	N	西 宮 夙 川	28	月	N	宝 塚	28	木	N	赤 穂	28	土			28	火	*	香 住	28	木		
29	土			29	火	N	尼 崎 西	29	金			29	日			29	水			29	金		
30	日			30	水	N	姫 路 西	30	土			30	月	N	芦 屋 川	30	木			30	土		
31	月	B'	神 戸 南	31	木							31	火	N	豊 岡 円 山 川					31	日		

	会長・幹事懇談会	例 会
A タイプ	8:00~9:00	7:00~7:45
N タイプ	11:15~12:15	12:30~13:30
N' タイプ	11:45~12:45	13:00~14:00

*……例会 12:20 から (会長幹事会 11:05~)

	会長・幹事懇談会	例 会
B タイプ	16:15~17:15	17:30~18:30
B' タイプ	16:45~17:45	18:00~19:00
C タイプ	17:15~18:15	18:30~19:30
C' タイプ	17:45~18:45	19:00~20:00
D タイプ	18:00~19:00	19:15~20:00

公式訪問に関してのお願い

公式訪問はガバナーにとって最も重要な任務の1つです。ガバナー補佐が、公式訪問の2～3週間前にクラブ協議会に参加し、クラブの現況をガバナーに報告します。

その報告により、ガバナーが公式訪問し、次のような項目を実施します。

1. 会長・幹事懇談会で、クラブの現況やクラブの抱える問題点を協議する。
2. 例会での卓話を通じて、奉仕の理想やR Iテーマを語り、会員とのコミュニケーションを深める。
3. 会長・幹事懇談会や卓話の中で、ガバナーの行動方針等を確認する。

ガバナー補佐の報告如何によっては、ガバナーが再度クラブ協議会開催を要請する場合があります。

①書類送付について

下記の資料（No.1～6）をご送付ください（クラブにて必ず控えを保管してください）。

1. クラブ現況報告書（クラブ年次報告書など）
2. クラブ定款
3. クラブ細則
4. 充填、未充填職業分類一覧表
5. クラブ週報（直近の2週間分）
6. 公式訪問会場への交通案内図・最寄の駐車場地図
（会長・幹事懇談会、例会場が異なる場合には、それぞれの会場名、所在地、電話番号、交通案内図をご送付ください）

※寄付目標・増強目標などを含め、次年度のクラブ情報を5月末までにロータリークラブ・セントラルより入力してください。

提出者	提出先	部数	期限
会長・幹事	ガバナー補佐	1部	クラブ協議会の1週間前必着
	ガバナー（ガバナー事務所）	1部	公式訪問の2週間前必着

②会長・幹事懇談会

会議時間は例会開始前の約1時間として、出席者はクラブ会長・幹事とガバナー・随行者の4名のみを予定しています。

③公式訪問例会

例会でのガバナーの卓話は30分以内を予定しています。

※大変恐縮ですが、公式訪問後の飲食のお誘い及び、お土産等のお気遣いは一切無用にお願い申し上げます。

RI関係・地区への送金および報告

1. 各種送金

期 日	事 項	金 額	振込先	送 金 先	備 考	
2017年7月1日 (前期) および 2018年1月1日 (後期)	(1)人頭分担当 (7/1・1/1入会者含む)	半期30ドル 2016年規定審議会決定	RI日本事務局経理室 (写)ガバナー事務所	三井住友銀行 新宿通支店 普-6733244 国際ロータリー日本事務局	国際ロータリーよりメールにて請求書が送られます 請求書記載通りに振込み下さい (送金時のロータリーレート) をご確認ください	
	(2)比例人頭分担当 (毎月2日以降入会者)	[30÷6×在籍月数]ドル (入会翌月より起算)				
	(3)規定審議会分担当	前期のみ1.5ドル (7/1会員数)				
	(4)ザ・ロータリアン(英文) 購読料(購入希望者のみ)	半期12ドル				
	(5)ロータリーの友購読料	半期1,296円	一般社団法人 ロータリーの友事務所	三井住友銀行 浜松町支店 普-7450015 一般社団法人ロータリーの友事務所	中途入会者は月額1部216円 にて計算下さい	
	(6)ロータリー財団への寄付	公益財団法人ロータリー日本財団への寄付: 年次基金・その他の基金および恒久基金等 (個人および法人からの寄付は税制上の優遇措置の対象・書式Aを使用)		RI日本事務局経理室	三井住友銀行 赤羽支店 普-3978101 公益財団法人ロータリー日本財団	指定書式をご使用下さい
		※ドル建の専用口座 (手数料がかかります) (ドルの寄付、オンラインの寄付は税制上の優遇措置の対象外)		RI日本事務局経理室に ご相談ください	三井住友銀行 新宿通支店 普-0100707 Rotary International	
(7)公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会への寄付 (但し特別寄付は随時可)	半期2,000円以上 (各クラブにて決定)	公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会	三井住友銀行 京橋支店 普-0920373 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会			
その都度	RI文献の申込み		RI日本事務局資料室	三井住友銀行 新宿通支店 普-6733244 国際ロータリー日本事務局	料金は前払い 英文の文献も取寄せ可能	
2017年7月1日 (前期) および 2018年1月1日 (後期)	(8)地区資金	半期5,000円	ガバナー事務所	三井住友銀行 神戸営業部 普-9791353 国際ロータリー第2680地区 一般会計	中途入会者は翌月より 起算して月額850円	
	(9)地区活動資金	半期2,000円			中途入会者は翌月より 起算して月額350円	
	(10)ガバナー月信	半期1,100円			中途入会者は翌月より 起算して月額200円	
2017年7月1日 (前期のみ)	(11)地区大会分担当	8,000円	ガバナー事務所	三井住友銀行 神戸営業部 普-9831701 国際ロータリー第2680地区 地区大会	2018年2月末日までの 中途入会者は全額	
	(12)地区VTT分担当	1,000円	ガバナー事務所	三井住友銀行 神戸営業部 普-9832133 国際ロータリー第2680地区 奉仕プロジェクト	2018年5月末日までの 中途入会者は全額	
	(13)地区準準備分担当	500円	ガバナー事務所	三井住友銀行 神戸営業部 普-9831725 国際ロータリー第2680地区 地区準準備	2018年5月末日までの 中途入会者は全額	

2. 各種報告

期 日	事 項	報告先	備 考
2017年7月1日 および 2018年1月1日 までに	クラブ請求書発行のための会員情報報告確認	RI世界本部	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合)
		ガバナー事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
毎 月	会員数・出席率報告(所定の書式を使用のこと)	ガバナー事務所	翌月15日必着
2018年 2月1日までに	次年度会長・幹事の決定報告	RI世界本部	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合)
	次年度クラブ情報アンケート (次年度会長・幹事、クラブ事務所、例会場住所 確認、クラブ周年行事等)	ガバナーエレクト事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
2018年 4月30日までに	国際大会信任状(投票代議員カード) (クラブが国際大会に代議員または補欠を派遣しない 場合、地区内クラブの大会出席者に委任可能)	ガバナーエレクト事務所	国際ロータリーより、メールにて所定用紙が送られます
その都度	入会・退会・住所・職業分類・その他の変更	RI世界本部	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合)
		ガバナー事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
	会長・幹事・クラブ役員の変更	RI日本事務局 ガバナー事務所	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合) 地区Web管理システムによるオンライン報告
	事務所・例会(場所・日時)の変更	ロータリーの友事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
	新クラブ・インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの誕生		
クラブ活動状況報告および写真	ガバナー事務所 ロータリーの友事務所		

主要行事予定

地区行事予定

2017年	4月29日(土・祝)	2017年地区研修・協議会
	6月17日(土)	地区会員増強セミナー
	7月7日(金)	補助金管理説明会
	7月9日(日)	米山記念奨学セミナー
	7月9日(日)	ローターアクト地区交流会
	7月23日(日)	青少年奉仕セミナー
	8月20日(日) ・21日(月)	第35回インターアクト地区年次大会
	9月9日(土)	米山カウンセラーミーティング
	9月10日(日)	アクトの日
	10月22日(日)	ロータリー財団セミナー
	11月12日(日)	米山日本文化セミナー
	11月12日(日)	奉仕活動合同セミナー(神戸会場)
	11月18日(土)	米山面接官オリエンテーション
	11月19日(日)	インターアクト次期リーダー講習会
	12月2日(土)	職業奉仕セミナー
	12月3日(日)	奉仕活動合同セミナー(豊岡会場)
	12月9日(土)	2018学年度米山記念奨学生面接選考会
12月17日(日)	2018-19年度補助金管理セミナー	
2018年	1月20日(土)	第20回学習障害理解のための実践講座
	2月18日(日)	2018年地区チーム研修セミナー
	3月4日(日)	2017学年度米山記念奨学生歓送会
	3月10日(土) ・11日(日)	地区大会
	3月18日(日)	2018年会長エレクト研修セミナー(PETS)
	3月22日(木) ～25日(日)	第40回RYLAセミナー
	4月8日(日)	2018学年度米山記念奨学生・ カウンセラーオリエンテーション
	4月8日(日)	ローターアクト指導者育成セミナー
	4月29日(日・祝)	2018年地区研修・協議会
	6月2日(土) ・3日(日)	IA顧問教諭とロータリアン合同研修会
	6月10日(日)	第40回ローターアクト地区年次大会

国際ロータリー強調月間・行事予定

2017年	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
	9月	基本的教育と識字率向上月間
		ロータリーの友月間
	10月	経済と地域社会の発展月間
		米山月間
	10月7日を含む1週間(月～日曜日)	ロータリー学友参加推進週間
	11月	ロータリー財団月間
	11月5日を含む1週間(月～日曜日)	世界インターアクト週間
	12月	疾病予防と治療月間
	2018年	1月
1月27日を含む1週間		追悼記念週間
2月		平和と紛争予防/紛争解決月間
2月23日		ロータリー創立記念日
		世界理解と平和の日
3月		水と衛生月間
3月13日		世界ローターアクトの日
3月13日を含む1週間		世界ローターアクト週間(月～日曜日)
4月		母子の健康月間
5月		青少年奉仕月間
6月	ロータリー親睦活動月間	
6月23日～6月27日	RI 国際大会(カナダ・トロント)	

IMの予定

尼崎グループ	2018年3月3日(土)
阪神第1グループ	2018年2月17日(土)
阪神第2グループ	2017年11月3日(金・祝)
阪神第3グループ	2018年2月17日(土)
神戸第1グループ	2017年11月18日(土)
神戸第2グループ	実施なし
東播第1グループ	2018年2月17日(土)
東播第2グループ	2018年2月3日(土)
東播第3グループ	2018年2月10日(土)
淡路グループ	2017年11月26日(日)
西播第1グループ	2017年11月18日(土)
西播第2グループ	実施なし
但馬グループ	2018年4月22日(日)

※予定は、今後変更になる場合があります。

地区内ロータリークラブ一覧表

クラブ名	上段会長 下段幹事	〒	事務所 E-mail アドレス	上段 TEL 下段 FAX	例会場	上段 TEL 下段 FAX	例会	
							曜日	時間
6 尼崎	尼崎	西良 耕一 池田 雄二	660-0882 尼崎市昭和南通3-1 尼崎第2松本ビル3階 amagasakirc@hcc1.bai.ne.jp	06-6411-1200 06-6411-4340	〒660-0881 尼崎市昭和南通3-96 尼崎商工会議所7階	06-6411-2251 06-6413-1156	月	12:30
	尼崎北	岡村 重和 高本 誠介	660-0881 尼崎市昭和南通2-7-1 都ホテルニューアルカイクビル1階 anrc@amagasakinorthrotaryclub.org	06-6481-4595 06-6481-4755	同 左 都ホテルニューアルカイク2階	06-6488-7777 06-6488-0711	金	12:30
	尼崎東	中西 孝光 中田 雄久	660-0882 尼崎市昭和南通3-1 尼崎第2松本ビル3階 amerc@hera.eonet.ne.jp	06-6411-1200 06-6411-4340	〒661-0976 尼崎市潮江1-4-1 ホテル「ホップイン」アミング2階	06-6491-8511 06-6491-8575	水	12:30
	尼崎西	康 榮男 杉本 一彦	660-0881 尼崎市昭和南通2-7-1 都ホテルニューアルカイクビル9階 amawest@crocus.ocn.ne.jp	06-6487-0090 06-6487-0091	同 左 都ホテルニューアルカイク2階	06-6488-4777 06-6488-0711	火	12:30
	尼崎南	釜田 育瑚 與那嶺まり子	660-0881 尼崎市昭和南通2-6-68 尼崎市中小企業センター5階 amasrc@amagasaki-southrc.com	06-6401-7573 06-6401-7590	〒660-0881 尼崎市昭和南通2-7-1 都ホテルニューアルカイク2階	06-6488-7777 06-6488-0711	木	12:30 最終本曜日 18:30
	尼崎中	大附 一彦 畑田 吉敏	660-0881 尼崎市昭和南通2-7-1 都ホテルニューアルカイクビル9階 amagasakinaka@poppy.ocn.ne.jp	06-6487-0125 06-6487-0091	同 左 都ホテルニューアルカイク2階	06-6488-4777 06-6488-0711	水	18:30
6 阪神第一	伊丹	富田 茂則 前田 隆則	664-0895 伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商工会議所内 icci19@itami.or.jp	072-773-1375 072-775-1223	同 左 伊丹商工会議所会館6階 マルチメディアホール	072-775-1221 072-775-1223	木	12:30
	川西	芝田 一夫 荒木 健作	666-0021 川西市栄根2-7-70 マルミヤ電化ビル3階 kawanishi-rc@alto.ocn.ne.jp	072-757-5566 072-755-0785	同 左		金	12:30
	伊丹有明	岩崎 健二 池永 明義	664-0895 伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹経営者協会内 ariake@muse.ocn.ne.jp	072-785-1551 072-773-2700	〒664-0851 伊丹市中央6-2-33 伊丹シティホテル	072-777-1111 072-777-2312	土	13:00
	川西猪名川	下岡 節三 林 健一	666-0011 川西市出在家町1-8 川西市商工会館1階 kawainar2@kagoya.net	072-757-8824 072-757-8824	同 左 川西市商工会館3階特別会議室	072-757-8824 072-757-8824	火	13:00
	伊丹昆陽池	石橋 安雄 野崎 勇美	664-0895 伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹経営者協会内 rotary@poporo.ne.jp	072-785-1300 072-773-2700	〒664-0851 伊丹市中央6-2-33 伊丹シティホテル	072-777-1111 072-777-2312	木	18:30
	西宮イブニング	丹羽 謙次 岩澤かみ子	662-0813 西宮市上甲東園3-12-6 岩澤方 nishi.eve.rc@gmail.com	0798-20-7087 0798-20-7087	〒663-8204 兵庫県西宮市高松町4-8 プレイのひめ4階 西宮市男女共同参画センター(ウェーブ)	0798-64-9495 0798-64-9496	水	19:15
6 阪神第二	西宮	岡田 洋 竹内 博	663-8166 西宮市甲子園高潮町3-30 ノボテル甲子園内 nrc@silver.ocn.ne.jp	0798-48-4900 0798-48-4811	同 左 ノボテル甲子園	0798-48-1111 0798-48-5111	火	12:30
	芦屋	山田 正雄 長井 俊彦	659-0092 芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋 2階202号 ashiyarc@sweet.ocn.ne.jp	0797-31-0729 0797-31-1316	〒659-0092 芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋	0797-31-2341 0797-23-2656	水	12:30
	甲子園	安本 勉 森 裕司	663-8166 西宮市甲子園高潮町3-30 ノボテル甲子園内 office@koshien-rotary.com	0798-44-5360 0798-44-5361	同 左 ノボテル甲子園	0798-48-1111 0798-44-5361	水	12:30
	西宮夙川	牧江 重徳 鷲田 肇	663-8166 西宮市甲子園高潮町3-30 ノボテル甲子園内 shukuro@globe.ocn.ne.jp	0798-48-4900 0798-48-4811	同 左 ノボテル甲子園	0798-48-1111 0798-48-4811	金	12:30
	芦屋川	溝井 康雄 北山 学	659-0092 芦屋市船戸町4-1-31 1 ashiyagawa@y2.dion.ne.jp	0797-22-0084 0797-22-0043	〒659-0092 芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋	0797-31-2341 0797-23-2656	月	12:30
	西宮恵美寿	坂本 浩孝 深谷 俊彦	663-8166 西宮市甲子園高潮町3-30 ノボテル甲子園 office@ebisu-rotary.com	0798-44-5360 0798-44-5361	同 左 ノボテル甲子園	0798-48-1111 0798-44-5361	木	12:30 第1本曜日 18:30
8 阪神第三	宝塚	脇中 義孝 山田 隆之	665-0004 宝塚市梅野町1-46 宝塚ホテル420号室 takarazuka-rc@jeans.ocn.ne.jp	0797-87-1151 0797-84-4141	同 左 宝塚ホテル	0797-87-1151 0797-87-9833	月	12:30
	三田	道遊 康浩 兵頭 尚	669-1531 三田市天神1-5-33 三田市商工会館 sanda-rc@piano.ocn.ne.jp	079-563-3666 079-563-3667	〒669-1321 三田市けやき台1-11-2 三田ホテル	079-564-1101 079-564-1107	火	12:30
	篠山	大見 春樹 大野垣勝弘	669-2331 篠山市二階町58 篠山商工会館3階 sasayama@member.ri2680.org	079-552-5656 079-552-5685	同 左 篠山商工会館3階	079-552-5656 079-552-5685	水	12:30
	柏原	柳川 拓三 足立 義雄	669-3309 丹波市柏原町柏原12 みなと銀行柏原支店2階 info@kaibara-rc.org	0795-72-2684 0795-72-2684	同 左 みなと銀行柏原支店2階	0795-72-2684 0795-72-2684	金	13:00
	宝塚武庫川	大門 勝史 池田 光輝	665-0003 宝塚市湯本町2-7 三東マンション103号 takarazuka-mukogawa@clear.ocn.ne.jp	0797-87-4343 0797-87-4343	〒665-0004 宝塚市梅野町1-46 宝塚ホテル	0797-87-1151 0797-85-0515	木	18:00
	三田南	柳田 昌三 荻野 恭三	669-1531 三田市天神1-5-33 三田市商工会館内 sanminami561-3560rc@onyx.dti.ne.jp	079-561-3560 079-561-3560	〒669-1525 三田市対中町5-21 ももたろう	079-564-5888 079-563-7330	木	18:30
8 HYOGO ロータリー Eクラブ	宝塚中	田辺朱希美 那須 範満	665-0845 宝塚市栄町1-17-8-2 tknaka@tknakarc.com	0797-83-1110 0797-83-1110	〒665-0004 宝塚市梅野町1-46 宝塚ホテル	0797-87-1151 0797-87-9833	水	19:00
	神戸	中野 正徳 小曾根佳生	650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル721号 office@koberotary.com	078-306-2525 078-302-2000	同 左 神戸ポートピアホテル	078-302-1111 078-302-6877	木	12:30
	神戸東	吉井 正幸 梅田 稔	650-0042 神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸内 office@kobe-east-rc.org	078-333-1818 078-333-1515	同 左 ホテルオークラ神戸	078-333-0111 078-333-3577	火	12:30
	神戸東灘	松田 眞一 東石 享子	658-0032 神戸市東灘区向洋町2丁目13番地 神戸ベイシエラホテル&タワーズ4階 higashinadarc@seagreen.ocn.ne.jp	078-857-5518 078-857-5519	同 左 神戸ベイシエラホテル&タワーズ3階北野	078-857-7000 078-857-7041	月	12:30
	神戸南	吉田 福司 井上 優	650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル7階 eeminami@eos.ocn.ne.jp	078-303-0878 078-303-0883	同 左 神戸ポートピアホテル	078-302-1111 078-302-6877	月	18:00
	神戸六甲	藤井 佳朗 山野 仁	650-0002 神戸市中央区北野町1-1 ANAクラウンプラザホテル神戸12階 rokko-rc@beach.ocn.ne.jp	078-291-1165 078-291-1164	同 左 ANAクラウンプラザホテル神戸9階	078-291-1121 078-291-1164	火	18:30
7 神戸第二	神戸ベイ	嶺山 洋子 渡部 健	658-0032 神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート4階 rep@kobebayrc.com	078-857-8606 078-857-8607	〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-13 神戸ベイシエラホテル&タワーズ3階	078-857-7000 078-857-7041	火	12:30
	神戸西	堺 充徳 神津 宣徳	650-0042 神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸内 kobe_nishi_ri2680@pure.ocn.ne.jp	078-334-1161 078-334-1162	同 左 ホテルオークラ神戸	078-334-1161 078-334-1162	金	12:30
	神戸須磨	林 正浩 合田新一郎	654-0021 神戸市須磨区平田町2-2-14 池尾ビル2階 sumarc@nifty.com	078-734-6600 078-734-6660	〒654-0068 神戸市須磨区西須磨西鉄拐7 須磨観光ハウス 味と宿 花月	078-731-3751 078-731-3753	水	12:30
	神戸北	西村 文茂 塩谷 満	651-0002 神戸市中央区北野町1-1 ANAクラウンプラザホテル神戸11階 info@rotarykn.com	078-231-2211 078-231-2211	同 左 ANAクラウンプラザホテル神戸9階	078-291-1121 078-291-1121	月	18:30
	神戸垂水	濱崎 良晴 橋本 正弘	655-0012 神戸市垂水区向陽2-2-20 ボヌール向陽102 office@tarumi-rc.jp	078-708-1521 078-708-6066	〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町18-11 シーサイドホテル舞子ビラ神戸	078-706-3711 078-705-0749	木	18:30
	神戸西神	小林 司 中川 隆	651-2273 神戸市西区梶台5-6-3 神戸西神オリエンタルホテル2階 info@kobeseishin.org	078-991-1000 078-991-1449	同 左 神戸西神オリエンタルホテル4階	078-992-8111 078-992-8106	木	12:30
7 神戸中	神戸中	内波 憲一 山中 英彦	651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル7階B-2 info@kobena-rotary.com	078-265-6151 078-265-6152	〒650-0042 神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸	078-333-0111 078-333-3577	火	18:30
	神戸モーニング	安田 幸司 門脇 正英	650-0021 神戸市中央区北長狭通3-2-3-2階 kmrc2680@gmail.com	078-392-0775 078-392-0776	同 左 ニューグランドビル2階 香港茶楼	078-392-0775 078-392-0776	木	7:00

	クラブ名	上段会長 下段幹事	〒	事務所 E-mail アドレス	上段 TEL 下段 FAX	例会場	上段 TEL 下段 FAX	例会	
								曜日	時間
東播第一	明石	西海 正隆 河合 宏昭	673-0892	明石市本町1-1-32 akashirc@pure.ne.jp	078-911-1122 078-911-1144	〒673-0891 明石市大明石町2-1-1 グリーンヒルホテル明石2階	078-912-2111 078-914-1974	水	12:30
	明石西	数田 巨康 福永 博一	655-0047	神戸市垂水区東舞子町18-11 舞子ビラ神戸430号室 akashinishi-rc@alpha.ocn.ne.jp	078-708-7674 078-708-7675	同 左 舞子ビラ神戸緑風館「春秋の間」	078-706-3711 078-706-2212	木	17:30
	明石北	松田 千尋 小川洋次郎	673-0892	明石市本町1-1-32 明石商工会館3階 a-kitarc@pure.ne.jp	078-914-5934 078-911-1144	〒673-0891 明石市大明石町2-1-1 グリーンヒルホテル明石2階	078-912-2111 078-914-1974	火	12:30
	明石南	小川 英紀 吉元 進	673-0023	明石市西新町3-2-23 明康殿2階 office@akashi-minami.ri2680.org	078-922-8780 078-921-0373	同 左 明康殿4階	078-922-8780 078-921-0373	金	18:00
東播第二	高砂	守光 隆 谷川こずえ	676-8558	高砂市高砂町北本町1104 高砂商工会議所内 takasago_rc@winwin.ne.jp	079-443-0500 079-442-0369	同 左 高砂商工会議所2階大会議室	079-443-0500 079-442-0369	金	12:30
	加古川	橘 重孝 落合 英樹	675-0064	加古川市加古川町溝之口800 加古川商工会議所会館5階 kakogawa@rotaryclub.ne.jp	079-423-0661 079-423-0677	同 左 加古川商工会議所会館4階大会議室	079-423-0661 079-423-0677	火	12:30
	加古川中央	大西淳滋郎 井上 孝明	675-0064	加古川市加古川町溝之口800 加古川商工会議所会館5階 info@kakogawa-chuo-rotary.club	079-421-5152 079-421-5559	同 左 加古川商工会議所会館4階大会議室	079-421-5152 079-421-5559	木	12:30
	高砂松	都倉 達殊 青木 裕加	676-8558	高砂市高砂町北本町1104 高砂商工会議所内 seisho_rc@winwin.ne.jp	079-443-0500 079-442-0369	同 左 高砂商工会議所2階大会議室	079-443-0500 079-442-0369	水	12:30
5	加古川	永田 博一 鈴木 勝博	675-0064	加古川市加古川町溝之口800 加古川商工会議所会館5階 heiseirc@basil.ocn.ne.jp	079-422-8000 079-422-8100	同 左 加古川プラザホテル1階ボールルーム	079-421-8877 079-421-6008	水	12:30
	三木	稲田 三郎 五本上照正	673-0431	三木市本町2-1-18 三木商工会館3階 info@miki-rc.jp	0794-82-8880 0794-82-0909	同 左 三木商工会館4階大会議室	0794-82-8880 0794-82-0909	金	12:30
東播第三	小野	岡岡 督修 岸本登喜子	675-1378	小野市王子町800-1 小野商工会館3階 info@rotary.onocci.or.jp	0794-63-3545 0794-63-7572	同 左 小野商工会館4階大会議室	0794-63-3545 0794-63-7572	水	12:30
	北条	高橋 清文 小川 雅規	675-2302	加西市北条町栗田11-15 加西商工会議所2階 hojo-rc@yacht.ocn.ne.jp	0790-43-1666 0790-42-1940	同 左 加西商工会議所3階	0790-43-1666 0790-42-1940	火	12:30
	西脇	藤原 悦男 細田 俊之	677-0015	西脇市西脇990 西脇商工会議所内 nishiwaki-rc@hesocci.or.jp	0795-22-3901 0795-22-8739	〒677-0015 西脇市西脇991 西脇ロイヤルホテル2階	0795-23-2000 0795-23-8604	月	12:30
	三木みどり	松尾 敏夫 二杉 智幸	673-0431	三木市本町2-1-18 三木商工会館3階 midori-rc@extra.ocn.ne.jp	0794-82-7333 0794-82-7444	同 左 三木商工会館4階大会議室	0794-82-7333 0794-82-7444	月	19:00
淡路	洲本	岡田 雅博 長手 康祐	656-0025	洲本市本町5-4-25 第2大冨ビル203号室 sumotorc50@cup.ocn.ne.jp	0799-22-8915 0799-26-0101	〒656-0025 洲本市本町4-5-10 三井住友銀行洲本支店内3階	0799-22-8915 0799-26-0101	火	12:30
	南淡路	天羽 恒美 鹿田 淑子	656-0503	南あわじ市福良丙317 南淡路ロイヤルホテル内 minamiawaji-r.c@juno.ocn.ne.jp	0799-53-1889 0799-53-1889	同 左 南淡路ロイヤルホテル内	0799-53-1889 0799-53-1889	金	12:30
	淡路三原	長尾 洋司 瀧口 洋	656-0462	南あわじ市青木110-9 淡路信用金庫 市支店3階 awaji-mihara-rc@giga.ocn.ne.jp	0799-42-3299 0799-42-5005	同 左 淡路信用金庫 市支店3階	0799-42-3299 0799-42-5005	木	12:30
	津名	伊木 敏和 河野 良啓	656-2131	淡路市志筑3117-12 淡路信用金庫 志筑支店3階 rc27tuna@hyper.ocn.ne.jp	0799-62-2375 0799-62-2375	同 左 淡路信用金庫 志筑支店3階	0799-62-2375 0799-62-2375	水	12:30
	あわじ中央	小島 一 岡田 隆一	656-0131	南あわじ市広田中筋792-8 awajichuo-rc@zeus.eonet.ne.jp	0799-45-2345 0799-45-2345	〒656-0021 洲本市塩屋1丁目300-70 タイム・アフター・タイム内		水	19:00
西播第一	姫路	山野 昭彦 井上登志男	670-0932	姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館2階 office@himeji-rc.org	079-222-7800 079-222-7802	同 左 姫路商工会議所新館5階501ホール	079-222-6001 079-222-7802	火	12:30
	姫路南	安田 宏行 黒川 仁	670-0962	姫路市南駅前100 ホテル日航姫路601 info@himeji-minami-rc.com	079-224-8224 079-288-3941	同 左 ホテル日航姫路3階	079-222-2231 079-224-4144	月	12:30
	姫路西	中村 浩一 石田 文徳	671-2222	姫路市青山1464 青山開発棟内 himeji-west@tiera.ocn.ne.jp	079-266-5533 079-266-7066	〒671-2223 姫路市青山南4丁目7-29 ホテルサンシャイン青山2階	079-276-1181 079-277-6000	水	12:30
	姫路東	篠原 正泰 山根 章	670-0932	姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館3階 info@himeji-east-rc.com	079-288-6416 079-222-8256	同 左 姫路商工会議所本館702号室	079-222-6001 079-288-0047	月	18:00
	神崎	塔尾 波多野芳則	679-2212	神崎郡福崎町福田116-1 福崎町商工会館3階 knzki-rc@jasmine.ocn.ne.jp	0790-22-2565 0790-22-7528	同 左 福崎町商工会館	0790-22-0558 0790-22-4354	木	12:30
	姫路中央	植村 真次 山本美比古	670-0043	姫路市小姓町35-1 船場西ビル212号 chuo@memenet.or.jp	079-269-9373 079-269-9380	〒670-0932 姫路市下寺町43番地 姫路商工会議所B1階 清交クラブロイヤルルーム	079-222-6001 079-224-2207	木	12:30
西播第二	赤穂	杉山 匡行 石原 将司	678-0239	赤穂市加里屋68-9 赤穂商工会館内 office@ako.ri2680.org	0791-43-6388 0791-43-6667	同 左 赤穂商工会館4階大ホール	0791-43-2727 0791-45-2101	木	12:30
	相生	半田 齊 江見 重人	678-0031	相生市旭3-1-23 相生商工会議所内 office@aioi.ri2680.org	0791-23-0144 0791-22-2290	同 左 相生商工会議所3階大会議室	0791-22-1234 0791-22-2290	水	12:30
	龍野	上田 護國 一色かつみ	679-4167	たつの市龍野町富永702-1 龍野商工会議所内 tatsuno-rc@tatsuno.or.jp	0791-63-4141 0791-63-4360	同 左 龍野経済交流センター1階	0791-63-4141 0791-63-4360	木	12:30
	上郡	井口 洋子 田村 栄子	678-1233	赤穂郡上郡町大持278 上郡町商工会館内 kamigori@gold.ocn.ne.jp	0791-52-3710 0791-52-3833	同 左 上郡町商工会館内	0791-52-3710 0791-52-3833	金	12:30
但馬	豊岡	紀氏 隆宏 古田 和博	668-0046	豊岡市立野町19-1 萬長ビル2-1号 toyookarc@gmail.com	0796-24-2800 0796-24-1360	〒668-0027 豊岡市若松町2-9 アールベルアンジェ豊岡	0796-26-2255 0796-29-1502	金	12:30
	生野	森田 龍司 佐竹 保	679-3301	朝来市生野町口銀谷511 但陽信用金庫 生野本部2階 ikunorc@mx.ncansai.ne.jp	079-679-3425 079-679-3425	〒679-3301 朝来市生野町口銀谷535 但陽会館 東館	079-679-4375 079-679-4375	水	12:30
	香住	伊藤 誠 松下 弘行	669-6544	美方郡香美町香住区香住104 kasumi-rc@bz03.plala.or.jp	0796-36-1283 0796-36-1283	〒669-6544 美方郡香美町香住区香住100-2 香住文化会館 第3会議室	0796-36-1026 0796-36-1026	火	12:20
	豊岡	植村 久樹 岡本 慎二	668-0046	豊岡市立野町19-1 萬長ビル2-1号 office@toyooka-maruyamagawa.ri2680.org	0796-24-2800 0796-24-1360	〒668-0027 豊岡市若松町2-9 アールベルアンジェ豊岡	0796-26-2255 0796-29-1502	火	12:30
	和田山	熊田 春基 大林 賢一	669-5231	朝来市和田山町林垣911 ル・パルク内 wdym.1941@ilac.ocn.ne.jp	079-672-5435 079-672-5435	同 左 但馬重機(株)研修所 ル・パルク内	079-672-5435 079-672-5435	木	12:30

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2680



ガバナー
瀧川 好庸
(神戸西)



地区研修リーダー
中村 尚義
(洲本)



代表幹事
矢坂 誠徳
(神戸西)

2017-18年度RIテーマ



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

尼崎グループ



ガバナー補佐
荒巻 政文
(尼崎西)

瀧川ガバナーが地区の方針として掲げられている三つの重点項目を尼崎グループの会員の方々にいかに理解をいただくか。クラブの自主性を尊重しながらいかにcross promotion (交流促進) を、クラブ同士で行なえるか。会長、幹事の皆様の協力を得て実行したいと思います。

尼崎



会長
西良耕一



幹事
池田雄二

尼崎北



会長
岡村重和



幹事
高本誠介

尼崎東



会長
中西孝光



幹事
中田雄久

尼崎西



会長
康 榮男



幹事
杉本一彦

尼崎南



会長
釜田育瑚



幹事
與那嶺まり子

尼崎中



会長
大附一彦



幹事
畑田吉敏

阪神第1グループ



ガバナー補佐

小林 俊 康

(川 西)

川西ロータリークラブへ入会しては18年、この間もっとも充実した1年は、会長に就任した2012-13年度でした。思う存分にロータリーライフを楽しむことができました。補佐となってグループ内の会長皆様のご活躍を拝見し、お手伝いし、合わせて自分自身への刺激としていきたいと考えております。

伊 丹



会 長

富田 茂



幹 事

前田隆則

川 西



会 長

芝田一夫



幹 事

荒木健作

阪神第2グループ



ガバナー補佐

天羽 公 夫

(甲子園)

瀧川ガバナーは地区方針の重点項目を事業の継続性、複数組織の交流促進、多様性としています。ガバナー補佐の役割はその方針を基に、地区と阪神第2グループ各クラブの意思の疎通を図る事だと考えます。それに加え、各クラブ間の親睦をより一層深める事にも努力する考えです。グループ内の皆様のご協力よろしく申し上げます。

西 宮



会 長

岡田 洋



幹 事

竹内 博

芦 屋



会 長

山田正雄



幹 事

長井敏彦

伊丹有明



会 長

岩崎健二



幹 事

池永明義

川西猪名川



会 長

下岡節三



幹 事

林 健一

甲 子 園



会 長

安本 勉



幹 事

森 裕司

西宮夙川



会 長

牧江重徳



幹 事

賛田 肇

伊丹昆陽池



会 長

石橋安雄



幹 事

野崎勇美

西宮イブニング



会 長

丹羽謙次



幹 事

岩澤公美子

芦 屋 川



会 長

溝井康雄



幹 事

北山 学

西宮恵美寿



会 長

坂本浩孝



幹 事

深谷俊彦

阪神第3グループ



ガバナー補佐

木戸 一統

(宝塚)

ロータリー入会25年目の年に、瀧川ガバナーの補佐としてお手伝いさせて頂くことになりました。ロータリーは変化の時代を迎えようとしておりますが、良き伝統は守りつつ、新しい風も取り入れ、ロータリー精神を広めていければと考えております。阪神第3グループの皆様のご協力を賜わり、楽しく、活力のあるロータリー活動となりますよう微力ではございますが、一年間頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

神戸第1グループ



ガバナー補佐

野田 晴清

(神戸東)

原則から逸脱することなく、ガバナーを全面補佐し、第1グループの声も十分に吸いあげ報告して、各クラブの全会員がガバナーと遊離する事のないよう努力いたします。一年間皆様宜しくご指導を頂きますようお願い致します。

宝 塚	三 田
 会 長 脇中義孝	 幹 事 山田隆之
 会 長 道遊康浩	 幹 事 兵頭 尚
篠 山	柏 原
 会 長 大見春樹	 幹 事 太野垣勝弘
 会 長 柳川拓三	 幹 事 足立義雄
宝塚武庫川	三 田 南
 会 長 大門勝史	 幹 事 池田光輝
 会 長 柳田昌三	 幹 事 荻野恭三
宝 塚 中	HYOGOロータリー-クラブ
 会 長 田辺朱希美	 幹 事 那須範満
 会 長 吉井久美子	 幹 事 堤 万佐子

神 戸	神 戸 東
 会 長 中野正徳	 幹 事 小曾根佳生
 会 長 吉井正幸	 幹 事 梅田 稔
神 戸 東 灘	神 戸 南
 会 長 松田眞一	 幹 事 東石享子
 会 長 吉田福司	 幹 事 井上 優
神 戸 六 甲	神 戸 ベイ
 会 長 藤井佳朗	 幹 事 山野 仁
 会 長 嶺山洋子	 幹 事 渡部 健

神戸第2グループ



ガバナー補佐

松田 洋三

(神戸北)

瀧川ガバナーのもと、まず2680地区の運営方針を理解し神戸第2グループの各クラブとの連携を密にしロータリーの活動が元気で楽しくなるように運営が出来るように努力をしたいと考えています。特に各クラブの会長、幹事とは情報交換、親睦を深めていきたいと考えています。

神戸西



会長

堺 充廣



幹事

神津宜徳

神戸須磨



会長

林 正浩



幹事

合田新一郎

神戸北



会長

西村文茂



幹事

塩谷 満

神戸垂水



会長

濱崎良晴



幹事

橋本正弘

神戸西神



会長

小林 司



幹事

中川 隆

神戸中



会長

内波憲一



幹事

山中英彦

神戸モーニング



会長

安田幸司



幹事

門脇正英

東播第1グループ



ガバナー補佐

岩永 一哉

(明石)

瀧川ガバナーの「地区の重点3項目」を念頭にグループ内4クラブの今後の活動の継続性、他クラブとのクロス・プロモーションの促進等々閉鎖的なグループの活動を、より多様性への促進を実現するための一助となるべく、グループ内、各クラブの皆様と十分な議論を進めていきたいと考えます。

明石



会長

西海正隆



幹事

河合宏昭



会長

藪田亘康



幹事

福永博一

明石西

明石北



会長

松田千尋



幹事

小川洋次郎



会長

小川英紀



幹事

吉元 進

明石南

東播第2グループ



ガバナー補佐

庄 司 武

(高砂青松)

瀧川好庸ガバナー、2680地区と東播第2グループの皆様のクラブとの橋渡し役として努めて参ります。各クラブの方針や独自に運営されておられる事業を理解し、本年度の地区ガバナー方針を達成、完遂できるよう「入って学び出でて奉仕せよ」の精神で、連携を密にし、特に会長・幹事との情報交換及び親睦を深めさせていただきます。

高 砂



会 長

守光 隆



幹 事

谷川こずえ

加 古 川



会 長

橘 重孝



幹 事

落合英樹

加古川中央



会 長

大西淳滋郎



幹 事

井上孝明

高砂青松



会 長

都倉達殊



幹 事

青木裕加

加古川平成



会 長

永田博巳



幹 事

鈴木勝博

東播第3グループ



ガバナー補佐

藤 本 幸 作

(三木みどり)

“楽しくないロータリーはロータリーではない”というロータリーに対する自分の信念のもと、瀧川好庸ガバナーの運営方針を理解、具現化することを目指し、各地域のリーダーと共に頑張る所存でありますので、よろしくご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三 木



会 長

稲田三郎



幹 事

五本上照正

小野加東



会 長

宮岡督修



幹 事

岸本登喜子

北 条



会 長

高橋清文



幹 事

小川雅規

西 脇



会 長

藤原悦男



幹 事

細田俊之

三木みどり



会 長

松尾敏夫



幹 事

二杉智幸

淡路グループ



ガバナー補佐

興津博捷

(淡路三原)

瀧川年度の淡路Gのガバナー補佐を務めさせて頂くことになりました。年齢と会員歴だけ重ねて参りましたが、ガバナーの運営方針を理解し、地区とグループ内の各クラブとのコミュニケーションを図ることでクラブの活性化が果たせるよう皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

洲 本



会 長
岡田雅博



幹 事
長手康祐

南 淡 路



会 長
天羽恒美



幹 事
鹿田淑子

淡 路 三 原



会 長
長尾洋司



幹 事
瀧口 洋

津 名



会 長
伊木敏和



幹 事
河野良啓

あわじ中央



会 長
小島 一



幹 事
岡田隆一

西播第1グループ



ガバナー補佐

岡田和也

(姫路西)

瀧川好庸ガバナーの方針をもとに、地区と西播第一グループ6RCとのパイプ役をつとめるとともに、活発で活動的な6RCの皆様のお役にたてるように、「元気が一番」をモットーとして頑張ります。皆様、よろしくご指導、ご協力をお願いいたします。

姫 路



会 長
山野昭彦



幹 事
井上登志男

姫 路 南



会 長
安田宏行



幹 事
黒川 仁

姫 路 西



会 長
中村浩一



幹 事
石田文徳

姫 路 東



会 長
篠原正泰



幹 事
山根 章

神 崎



会 長
塔尾 章



幹 事
波多野芳則

姫 路 中 央



会 長
植村真次



幹 事
山本美比古

西播第2グループ



ガバナー補佐

塚崎 純

(上郡佐用)

南に2670地区、西に2690地区と隣接する西播第2グループは、それぞれが人口10万人未満の4市3町からなる田舎グループです。田舎だけに、い〜仲です!? この絆を生かして、明るく楽しくおもしろい一年になるようがんばりたいと思います。ロータリーは、人を笑顔にするものです。みんなで大いに笑いましょう!

赤 穂



会長
杉山匡行



幹事
石原将司

相 生



会長
半田 齊



幹事
江見重人

龍 野



会長
上田護國



幹事
一色かつみ

上郡佐用



会長
井口洋子



幹事
田村栄子

但馬グループ



ガバナー補佐

能見 洋八郎

(生 野)

ロータリーの中心は各クラブであるべきですが、瀧川ガバナーの継続性、交流促進そして多様性を図るという地区の3つの方針を念頭に、コーディネーターとしての役割を果たして行きたいと思っています。その上で親睦を縦糸に奉仕という横糸を織り込んでいくことで地区が素晴らしい形になるようよろしくご協力をお願い致します。

豊 岡



会長
紀氏隆宏



幹事
古田和博

生 野



会長
森田龍司



幹事
佐竹 保

香 住



会長
伊藤 誠



幹事
松下弘行

豊岡円山川



会長
植村久樹



幹事
岡本慎二

和 田 山



会長
熊田春基



幹事
大林賢一

地区組織表① 委員長・副委員長(敬称略)

ガバナー指名委員会

委員長



石丸鐵太郎
(神戸南)

ガバナー連絡会議 委員長

意義ある業績賞選考委員会
委員長

奉仕プロジェクト特別会計委員会
委員長



瀧川好庸
(神戸西)

研修委員会

委員長



中村尚義
(洲本)

副委員長



滝内秀昭
(伊丹)

地区財務委員会

委員長



山口 宰
(神戸西)

規定審議委員会

委員長



大内晋二
(神戸須磨)

副委員長



富田博重
(柏原)

監査委員会

委員長



林 浩嗣
(神戸須磨)

戦略計画委員会

委員長



石丸鐵太郎
(神戸南)

副委員長



門田敬造
(神戸須磨)

副委員長



坂東隆弘
(柏原)

地区史編纂委員会

委員長



柴田整宏
(西宮夙川)

危機管理委員会

委員長



黒田建一
(西宮イブニング)

副委員長



安行英文
(三田)

地区組織表② 委員長・副委員長・小委員長(敬称略)

	クラブ管理運営委員会	増強拡大委員会			公共イメージ委員会	職業奉仕委員会
委員長	 常次佳丈 (神崎)	 野瀬 操 (姫路西)	 北川則行 (尼崎西)	 福間則博 (宝塚)		
副委員長	 城 守 (姫路)	 神名大典 (龍野)	 梅原可奈子 (西宮イブニング)	 四方克明 (神戸東)	 宮宅勇二 (加古川平成)	 田中賢一 (伊丹)
小委員長		会員増強				
		 神名大典 (龍野)				
		多様化				
		 梅原可奈子 (西宮イブニング)				

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

青少年奉仕委員会

委員長



半田 齊
(相生)



濱 浩一
(神戸)



坂東隆弘
(柏原)

副委員長



本條 昇
(龍野)



安行英文
(三田)



三木健義
(姫路)



黒田建一
(西宮イブニング)

小委員長

地域活性



本條 昇
(龍野)

世界理解



安行英文
(三田)

インターアクト



長井彦一郎
(芦屋川)

RYLA



白井良夫
(伊丹)

教育問題



山口 元
(神戸ベイ)

奨学金



山本正二
(西宮夙川)

ローターアクト



中本広太郎
(神戸)

青少年交換



白井務子
(姫路東)

プロバス



羽賀紘一
(神戸西)

VTT



吉岡博忠
(伊丹)

学友委員会

ロータリー財団委員会

米山記念奨学委員会

委員長



安行英文
(三田)



久野 薫
(神戸東)



秦紳一郎
(洲本)

副委員長



徳梅明彦
(あわじ中央)



石丸鐵太郎
(神戸南)



永松潔和
(神戸)



武本正照
(尼崎北)

小委員長

資金推進

補助金



小出紀久男
(尼崎西)



瀬戸 徹
(西宮)

資金管理

ポリオプラス



飯田健一
(神戸南)



喜多美雄
(加古川中央)

文庫通信 (357号)

◆◆◆ ロータリー情報 ◆◆◆

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

◎「もっと世界を見つめ直ほそう」(D.2640地区大会記録誌)	千 玄室	2016	6p
◎「まとめと提言」(ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案)	黒田正宏	2017	3p
◎「私の信奉するロータリー」	松宮 剛	2017	10p
◎「ロータリーはどこに行く?~日本のロータリー100周年に向けて」(D.2760地区大会記録誌)	本田博己	2017	10p
◎「ロータリーを解り難くしているもの」(D.2730月信)	大重勝弘	2017	1p
◎「職業奉仕・Vocational Service」(D.2730月信)		2017	2p
◎「2016年規定審議会における職業奉仕の変更点」(D.2650月信)		2017	2p
◎「規定審議会決定に対する日本ロータリーの統一の見解について」(D.2700月信)	富田英壽	2017	4p
◎「ロータリー考『例会の頻度』」(D.2610月信)	岡部一輝	2017	2p
◎「ロータリーの新しいゾーン構成が決まる」(D.2650月信)		2017	2p

【上記申込先：ロータリー文庫】

◆◆◆◆◆ ロータリー文庫 ◆◆◆◆◆

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館：午前10時~午後5時 休館：土・日・祝日

7 月 地 区 活 動 予 定

日	時	行 事 名	場 所
1(土)	15:00~17:00	第1回社会奉仕委員会	西村屋和味旬彩
2(日)	14:00~16:00	第1回RYLA小委員会	センタープラザ西館6階8号会議室
3(月)	16:00~17:00	第2回公共イメージ委員会	ガバナー事務所会議室
7(金)	13:30~16:30	補助金管理説明会	三宮コンベンションセンター502号室
9(日)	13:00~17:00	米山記念奨学セミナーおよび交流会	神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB館216
	10:30~12:00	第1回ローターアクト小委員会	兵庫県立円山川公苑
	13:30~17:00	ローターアクト地区交流会	兵庫県立円山川公苑
13(木)	18:30~	IYFR神戸フリートJAPAN 第24回定期総会・懇親食事会	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
14(金)	18:00~	第2回ポリオプラス小委員会	神仙閣
16(日)	13:00~17:00	第1回前島国際青少年リーダー養成セミナー(MIYLS)実行委員会	センタープラザ西館6階3号会議室
21(金)	17:30~	第1回規定審議委員会	ガバナー事務所会議室
22(土)	15:00~19:00	第5回職業奉仕委員会	未定
23(日)	13:00~17:00	青少年奉仕セミナー	兵庫県私学会館

ガバナー事務所からのお知らせ

◆ガバナー月信

ガバナー月信は、地区内のクラブ会長・幹事あてに、ガバナーの見解並びに国際ロータリーの各種情報をお伝えするために毎月発行する公式書簡です。この月信の発行は、ガバナーの最も重要な任務のひとつです。本年度もさまざまなロータリー情報を提供いたします。

◆クラブ請求書発行のための会員情報報告、人頭分担金などについて

詳細は、「RI関係・地区への送金および報告」（8ページ）に掲載しております。確実にお手続きをしていただきますようお願いいたします。

◆会員数・出席率報告は、翌月15日までに必着でお願いいたします。

◆原稿依頼について

見やすい月信、読みやすい月信にするために、字数制限に格段のご配慮をお願いいたします。又、原則として**翌月の月信の締切は毎月10日**ですので、委員会報告等がございましたら締切日の厳守をよろしくお願いいたします。又各行事をホームページに掲載させていただきますので、ガバナー事務所までお問い合わせください。

なお原稿は可能な限りデータにてお送りください。

◆会員異動報告

会員の入会・退会・変更（職業分類・会員資格・役職名・住所など）は、必ずその都度、RI日本事務局にはMy ROTARYから、ガバナー事務所には地区Web登録システムからオンライン報告をお願いいたします。

新会員につきましては、所定の書式にて、入会年月日・職業分類に写真1葉を添えて、ガバナー事務所までご送付ください。またクラブ会員の弔事については、逝去月日・年齢（月信では通常、享年<数え年>で記載）に写真1葉を添えて、至急ガバナー事務所宛てご送付ください。

◆ロータリー財団・米山記念奨学会へのご寄付について

各種認証者の方を月信に掲載いたしますので、所定の書式にて、寄付の種類とお名前と写真をガバナー事務所までご連絡ください。米山功労者は、必ず回数を明記ください。

◆クラブ行事について

クラブの記念事業や周年行事など、主なクラブ行事についてガバナー事務所にお知らせください。

◆質疑応答について

クラブ運営やその他のお問い合わせは、特に緊急の場合を除き、すべてEメール又は、書面（FAXか郵便）でお願いいたします。

◆緊急連絡について

ガバナー事務所からの緊急連絡に対応できる態勢をとっておいてくださるようお願いいたします。緊急の際は、クラブ会長または幹事に連絡をすることがありますが、ご了承ください。

RI理事会

RI理事エレクト
三木 明
(姫路)

ガバナー指名委員会

石丸鐵太郎	神戸南
大室 儁	宝塚武庫川
滝澤 功治	神戸須磨
丸尾 研一	神戸西神
室津 義定	尼崎中

ガバナー諮問委員会

神木 董	加古川
深川 純一	伊丹
空地 啓一	姫路
松岡 通夫	神戸
田中 毅	尼崎西
谷水 清司	神戸西
米谷 収	神戸南
中嶋 邦明	甲子園
赤木 文生	神戸東
安平 和彦	姫路
橋本 一豊	神戸須磨
石井 良昌	尼崎西
加藤 隆久	神戸
三木 明	姫路
宮本 一	芦屋
中村 尚義	洲本
柴田 整宏	西宮夙川
久野 薫	神戸東
石丸鐵太郎	神戸南
大室 儁	宝塚武庫川
滝澤 功治	神戸須磨
丸尾 研一	神戸西神
室津 義定	尼崎中
ガバナーエレクト	矢野 宗司 加古川中央
ガバナーノミニー	浅木 幸雄 神戸

ガバナー連絡会議

委員長	瀧川 好庸	神戸西
委員	室津 義定	尼崎中
	神谷 誠治	神戸西
	矢野 宗司	加古川中央
	多木 有一	神戸
	浅木 幸雄	神戸
	村尾憲一郎	神戸

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

理事	中村 尚義	洲本
評議員	柴田 整宏	西宮夙川

ロータリーの友委員会

特別顧問	安平 和彦	姫路
地区代表委員	村野 利昭	神戸西

地区研修リーダー
中村 尚義
(洲本)

ガバナーエレクト
矢野 宗司
(加古川中央)

次期地区研修リーダー

研修委員会

委員長	中村 尚義	洲本
副委員長	滝内 秀昭	伊丹
委員	高岡 久	尼崎
	吉住 俊一	柏原
	松下 衛	神戸東
	崎野 義就	明石
	高瀬 英夫	西脇
	中村彰一郎	姫路
	山口 恭弘	龍野
	遠藤玄一郎	豊岡

規定審議委員会

委員長	大内 晋二	神戸須磨
副委員長	富田 博重	柏原
委員	青木 裕加	高砂青松
	林 知宏	加古川平成
	堀 成志	篠山
	米谷 啓和	姫路
	久保 泰造	龍野
	工藤 涼二	神戸西神
	松井 英樹	小野加東
	三木 明	姫路
	興津 博捷	淡路三原
	滝澤 功治	神戸須磨
	辻 洋一郎	上郡佐用
	宇尾 好博	神戸中

ガバナー
瀧川 好庸
(神戸西)

戦略計画委員会

委員長	石丸鐵太郎	神戸南
副委員長	門田 敬造	神戸須磨
	坂東 隆弘	柏原
委員	石井 良昌	尼崎西
	丸尾 研一	神戸西神
	松下 衛	神戸東
	三木 明	姫路
	中村 尚義	洲本
	多木 有一	加古川中央
	滝澤 功治	神戸須磨
	矢野 宗司	加古川中央

危機管理委員会

委員長	黒田 建一	西宮イブニング
副委員長	安行 英文	三田
委員	安平 和彦	姫路
	三木 明	姫路
	滝澤 功治	神戸須磨
	丸尾 研一	神戸西神
	矢野 宗司	加古川中央
	浅木 幸雄	神戸
	坂東 隆弘	柏原
	三木 健義	姫路
	白井 務子	姫路東
	中本広太郎	神戸
	長井彦一郎	芦屋川
	白井 良夫	伊丹
	秦 紳一郎	洲本
	久野 薫	神戸東
	北川 則行	尼崎西
	田中 賢一	伊丹
外部委員	3名	

ガバナー補佐

尼崎	荒巻 政文	尼崎西
阪神第1	小林 俊康	川西
阪神第2	天羽 公夫	甲子園
阪神第3	木戸 一統	宝塚
神戸第1	野田 晴清	神戸東
神戸第2	松田 洋三	神戸北
東播第1	岩永 一哉	明石
東播第2	庄司 武	高砂青松
東播第3	藤本 幸作	三木みどり
淡路	興津 博捷	淡路三原
西播第1	岡田 和也	姫路西
西播第2	塚崎 純	上郡佐用
但馬	能見洋八郎	生野

意義ある業績賞選考委員会

委員長	瀧川 好庸	神戸西
委員	矢野 宗司	加古川中央
	ガバナー補佐13名	

地区財務委員会

委員長	山口 宰	神戸西
委員	笹倉 宣也	加古川中央
	朝家 修	加古川中央

奉仕プロジェクト特別会計委員会

委員長	瀧川 好庸	神戸西
委員	矢野 宗司	加古川中央
	浅木 幸雄	神戸
	久野 薫	神戸東
	石丸鐵太郎	神戸南
	飯田 健一	神戸南
	瀬戸 徹	西宮
	坂東 隆弘	柏原
	安行 英文	三田
	矢坂 誠徳	神戸西
	山口 宰	神戸西
監査役	丸尾 研一	神戸西神
	室津 義定	尼崎中

監査委員会

委員長	林 浩嗣	神戸須磨
委員	滝澤 功治	神戸須磨
	丸尾 研一	神戸西神

地区史編纂委員会

委員長	柴田 整宏	西宮夙川
委員	安平 和彦	姫路
	加藤 隆久	神戸
	増田 和郎	姫路
	村野 利昭	神戸西

クラブ

地区大会

実行委員長	村野 利昭	神戸西
副実行委員長	梶 宏昭	神戸西

国際大会参加推進委員会

委員長	小山 武	神戸西
副委員長	武田 寿子	神戸西

地区幹事(神戸西)

代表幹事	矢坂 誠徳	
副代表幹事	山口 宰	
連絡調整幹事	武井 宏之	
総務	幹事	近田 和裕
	副幹事	安黒 千能
	委員	関和 孝
委員会	委員	八木 隆博
		三木麻差子
		脇 延秀
	幹事	武田 寿子
	副幹事	尼崎 紀行
		大澤 裕信
		西川 嘉延
		芦名 謙介
		植田 晃行
		福元 隆久
公式訪問	委員	上根 学
		安黒 千能
		神津 宣徳
		関和 孝
		藤丸 敦史
		前田 勝彦
	幹事	善本 秀樹
	副幹事	飯田美奈子
	委員	植田 晃行
		上根 学
月信	委員	服部 敬二
		藤丸 敦史
		前田 勝彦
会計	幹事	中島 典子
	アドバイザー	土居 丈治
	副幹事	村野 利昭
	委員	奥田 郁三
	委員	山本 博
	会計長	笹倉 宣也
	副会計長	中山 隆弘

地区委員会

クラブ管理運営	増強拡大	公共イメージ	職業奉仕	社会奉仕	国際奉仕	青少年奉仕	学友	ロータリー財団	米山記念奨学
	会員増強 多様化			地域活性 教育問題 プロバス	世界理解	インターアクト ローターアクト RYLA 青少年交換		資金推進 資金管理 補助金 ポリオプラス	
				奨学金					
				VTT					
				奉仕プロジェクト					

地区組織表②

委員会名	クラブ管理運営委員会	増強拡大委員会	公共イメージ委員会	職業奉仕委員会	社会奉仕委員会	国際奉仕委員会	青少年奉仕委員会	学友委員会	ロータリー財団委員会	米山記念奨学委員会		
委員長	常次 佳丈 神 崎	野瀬 操 姫 路西	北川 則行 尼 崎西	福岡 則博 宝 塚	半田 齊 相 生	濱 浩一 神 戸	坂東 隆弘 柏 原	濱 浩一 神 戸	安行 英文 三 田	久野 薫 神 戸東	秦 紳一郎 洲 本	
副委員長	城 守 姫 路	神名 大典 龍 野 梅原可奈子 西宮イニング 四方 克明 神 戸東	宮宅 勇二 加古川平成	田中 賢一 伊 丹	本條 昇 龍 野	安行 英文 三 田	三木 健義 姫 路 黒田 建一 西宮イニング	安行 英文 三 田	徳梅 明彦 あわじ中央	石丸鐵太郎 神 戸南	永松 潔和 神 戸北 武本 正照 尼 崎北	
小委員会		会員増強			地域活性	世界理解	インターアクト	RYLA		資金推進	補助金	
	新玉 正男 神 戸南 福山 太一 HYOGO REC 伊木 敏和 津 名 菊井 公策 姫 路 木嶋 一二 甲子園 久保 恭利 尼 崎南 宮本 昌典 あわじ中央 永田 哲也 神 戸垂水 奥田 郁三 神 戸西 大西淳滋郎 加古川中央 高田 真也 龍 野 山地 秀俊 伊 丹 横井 哲行 洲 本	○ 神名 大典 龍 野 藤丸 信吾 神 戸西神 井上 孝明 加古川中央 加藤 仁哉 川 西 日下部 聡 姫 路 西山 孝彦 西 脇 関和 孝 神 戸東 四方 克明 神 戸西 高吉 千秋 姫 路西 田村 米子 上郡佐用 吉岡 博忠 伊 丹	藤本 智子 川 西 振角 憲治 姫 路西 羽原 正善 加古川中央 服部 敬二 神 戸西 池信 秀明 伊 丹 大迫 康二 西 宮 永田 哲也 神 戸垂水 住山 利恵 尼 崎西	藤丸 敦史 神 戸西 池信 秀明 伊 丹 勇 正一郎 尼 崎東 河合 秀樹 加古川 木戸 清隆 洲 本 木虎 知己 赤 穂 小南 稔彦 篠 山 黒田 建一 西宮イニング 三木谷研一 神 戸 宮本 圭介 淡路三原 永松 潔和 神 戸 荻野 正和 龍 野 小野 哲嗣 芦 屋 大平祐規子 宝 塚 大前 衛 三 田南 大内 晋二 神 戸須磨 高見 宗利 尼 崎西 谷垣 涉 柏 原 吉岡 博忠 伊 丹	○ 本條 昇 龍 野 新玉 正男 神 戸南 芦名 謙介 神 戸西 船山 英宣 加古川中央 土生田 尚士 豊 岡 橋本 雅彦 姫 路東 小林 司 神 戸西神 松浦 絵理 姫 路東 長澤 友滋 HYOGO REC 大塚 勝弘 西宮夙川 下岡 節三 川西猪名川 杉野 充保 西宮イニング 高野 克洋 尼 崎西 高山 秀則 洲 本 好崎 泰州 加古川平成	○ 安行 英文 三 田 秋定 滋登 HYOGO REC 兵頭 尚 三 田 加藤 拓 伊 丹 西川 嘉延 神 戸西 蔡 晓蕊 西宮イニング 吉岡 博忠 伊 丹	○ 長井彦一郎 芦 屋川 福井 正博 神 戸西神 廣瀬 隆仁 柏 原 久斗 譲二 神 崎 稲川 敬子 宝 塚 前田 正明 宝 塚中 奥田 祐司 神 戸中 大前 裕樹 篠 山 田中 洋 豊 岡 柳 弘一郎 洲 本 善本 秀樹 神 戸西	○ 白井 良夫 伊 丹 荒木 健作 川 西 北川 博崇 川 西 原田 仁史 HYOGO REC 畑中 伸介 三 木 伊藤 幸美 神 戸西神 加藤 拓 伊 丹 團尾 美佳 龍 野 永松 潔和 神 戸 奥田 裕 神 戸 大森 英夫 伊 丹 佐藤 栄一 伊 丹 田中 賢一 伊 丹 徳梅 明彦 あわじ中央 富田 裕子 相 生 土田 光一 柏 原 安行 英文 三 田 横田 勝好 姫 路南	坂東 隆弘 柏 原 秦 紳一郎 洲 本 黒田 建一 西宮イニング 松下 衛 神 戸東 三木 建義 姫 路 長井彦一郎 芦 屋川 中本広太郎 神 戸 白井 務子 姫 路東 白井 良夫 伊 丹 谷垣 信吾 西 脇 山本 正二 西宮夙川 吉岡 博忠 伊 丹	○ 小出紀久男 尼 崎西 尼崎 紀行 神 戸西 備 博之 尼 崎中 杉本 一彦 尼 崎西 高田 勝典 加古川 高山 敬 西 宮	○ 瀬戸 徹 西 宮 坂東 隆弘 柏 原 濱 浩一 神 戸 半田 齊 相 生 本條 昇 龍 野 飯田 健一 神 戸南 喜多 美雄 加古川中央 北川 則行 尼 崎西 小出紀久男 尼 崎西 小西 龍機 小野加東 村元 信吾 神 戸東 滝内 秀昭 伊 丹 徳梅 明彦 あわじ中央 山口 元 神 戸西 山本 正二 西宮夙川 安行 英文 三 田 吉岡 博忠 伊 丹 好崎 泰州 加古川平成	林 浩嗣 神 戸須磨 保地 富夫 加古川 舟元美智子 神 戸東 飯田 健一 神 戸南 伊藤 幸美 神 戸西神 河南 和幸 神 戸中 北川 博崇 川 西 児玉 貴春 HYOGO REC 前田 靖文 神 戸西 團尾 哲也 龍 野 三宅 康雄 芦 屋 永田 哲也 神 戸垂水 中川 尚美 甲子園 西山 勝敏 神 戸西 住山 利恵 尼 崎西 田中 勝 神 戸宮 植田 晃行 神 戸西 山本 秀憲 神 戸六甲 山野 仁 神 戸六甲
		多様化			教育問題		ロータリーアクト	青少年交換		資金管理	ポリオプラス	
		○ 梅原可奈子 西宮イニング 橋本 雅彦 姫 路東 本條 昇 龍 野 樹井 俊司 伊 丹 三木 健義 姫 路 三木 健児 姫 路西 岡田 佳也 相 生			○ 山口 元 神 戸西 藤井 光造 神 戸東 石津英一郎 神 戸西神 竹田 契一 宝塚武庫川 山口 宰 神 戸西		○ 中本広太郎 神 戸 古川 忠之 柏 原 石川 淳朗 芦 屋川 井植 啓悟 神 戸 兼先 正雄 豊 岡 前川 忠範 加古川中央 奥田 裕 神 戸 澤田 安弘 姫 路 武井 宏之 神 戸西 鶴田 彰二 加古川 和田 剛直 神 戸	○ 白井 務子 姫 路東 藤井 恵一 篠 山 春木 英行 加古川中央 池田 雅子 上郡佐用 小浜 博紀 あわじ中央 中島 洋人 神 戸 中本広太郎 神 戸 小倉 克輝 姫 路東 阪田 真也 明石西 高鍋 直人 洲 本 武田 寿子 神 戸西 武井 宏之 神 戸西 竹内 理弘 柏 原 豊島 修 明石北 堤 健二郎 神 戸西神	○ 飯田 健一 神 戸南 光斎 信治 神 戸須磨 多田 善計 神 戸東	○ 喜多 美雄 加古川中央 安黒 千能 神 戸西 英 和夫 姫 路 小坂 圭一 尼 崎東 宮岡 督修 小野加東 仲田 五郎 北 条 榊 誠 加古川平成 関本 剛 神 戸東 谷口 賢蔵 甲子園 太野垣勝弘 篠 山		
					奨学金							
					○ 山本 正二 西宮夙川 福元 隆久 神 戸西 上月 和洋 加古川中央 團尾 美佳 龍 野 奥野 温子 西宮夙川 佐茂 省治 尼 崎中 山本 俊一 神 戸 吉岡 博忠 伊 丹							
					VTT							
					○ 吉岡 博忠 伊 丹 赤穂 哲 姫 路南 福田 充男 伊 丹 濱端 俊 明石北 上根 学 神 戸西 黒田 建一 西宮イニング 三宅 圭一 川 西 中島 勝美 伊 丹 津谷 功 伊丹有明 安行 英文 三 田							
											奉仕プロジェクト	

○印は小委員長 各委員はABC順 敬称略

国際ロータリー第2680地区 2017年 地区研修・協議会

開催日時 2017年 **4**月**29**日（土・祝）

登録9：30

開催10：30

開催場所 神戸ポートピアホテル・ポートピアホール



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

日 時：2017年4月29日（土・祝）

10：30～16：30

場 所：神戸ポートピアホテル・ポートピアホール

全体会議司会：滝内 秀昭

10：30	開 会		
	全体会議開会点鐘	ガバナーエレクト	瀧川 好庸
	国歌・ロータリーソング斉唱	ソングリーダー	三木麻差子
	パストガバナー紹介	ガバナーエレクト	瀧川 好庸
	挨 拶	ガバナー	室津 義定
	挨 拶	RI 理事ノミニー	三木 明
	次年度RIテーマと地区活動方針	ガバナーエレクト	瀧川 好庸
	元気なクラブを目指して	次期地区研修リーダー	中村 尚義
12：00	昼 食		
13：00	次年度リーダー紹介	ガバナーエレクト	瀧川 好庸
	規定審議会	次期規定審議委員長	大内 晋二
	ポジティブなエネルギーを未来に繋ぐ	ロータリー財団学友	佐藤 恭子
	報恩・奉仕・繁栄	よねやま親善大使	于 咏
	所 感	ガバナー	室津 義定
	全体会議閉会点鐘	ガバナーエレクト	瀧川 好庸
	移動・休憩		
15：00	部門別分科会開始		
16：30	部門別分科会終了・閉会		

RI会長エレクト



イアン H. S. ライズリー

サンドリンガムロータリークラブ, オーストラリア

ガバナーエレクト



瀧川 好庸

神戸西ロータリークラブ

部門別分科会一覧表

部 門	会 場	カウンセラー	リーダー	副リーダー		SAA 副SAA
会 長	本館地下1階 偕楽③	室津 義定 (尼 崎 中)	瀧川 好庸 (神 戸 西)	矢野 宗司 (加古川中央)		山口 幸 小松原 景久
幹 事	本館地下1階 偕楽②	中村 尚義 (洲 本)	矢坂 誠徳 (神 戸 西)	神谷 誠治 (尼 崎 中)	多木 有一 (加古川中央)	神津 科野 尼崎 紀行
				大内 晋二 (神 戸 須 磨)	富田 博重 (柏 原)	
クラブ管理運営	本館2階 のじぎく・すみれ・つつじ		常次 佳丈 (神 崎)	城 守 (姫 路)	滝内 秀昭 (伊 丹)	武井 宏之 梶 宏昭
増強拡大	本館地下1階 布引・北野		野瀬 操 (姫 路 西)	神名 大典 (龍 野)	梅原可奈子 (西宮イブニング)	関和 孝 笹倉 宣也
				四方 克明 (神 戸 東)	徳梅 明彦 (あわじ中央)	
				北川 則行 (尼 崎 西)	宮宅 勇二 (加古川平成)	
職業奉仕	本館地下1階 和楽②		福間 則博 (宝 塚)	田中 賢一 (伊 丹)		善本 秀樹 中山 隆弘
社会奉仕	南館地下1階 サファイア		半田 齊生 (相 生)	本條 昇 (龍 野)	山口 元 (神 戸 ベイ)	中島 典子 芦名 謙介
				羽賀 紘一 (神 戸 西)		
国際奉仕	南館地下1階 エメラルド		濱 浩一 (神 戸)	安行 英文 (三 田)	山本 正二 (西宮夙川)	西川 嘉延 近田 和裕
				吉岡 博忠 (伊 丹)		
青少年奉仕	南館地下1階 トパーズ		坂東 隆弘 (柏 原)	三木 健義 (姫 路)	黒田 建一 (西宮イブニング)	武田 寿子 斎藤満知子
				長井彦一郎 (芦 屋 川)	中本広太郎 (神 戸)	
				白井 良夫 (伊 丹)	白井 務子 (姫 路 東)	
ロータリー財団	本館地下1階 偕楽①		久野 薫 (神 戸 東)	石丸鐵太郎 (神 戸 南)	小出紀久男 (尼 崎 西)	福元 隆久 奥田 郁三
				飯田 健一 (神 戸 南)	瀬戸 徹 (西 宮)	
				喜多 美雄 (加古川中央)		
米山記念奨学	本館地下1階 生田		秦 紳一郎 (洲 本)	永松 潔和 (神 戸)	武本 正照 (尼 崎 北)	上根 学 三木麻沙子

開会挨拶

ガバナー 室津 義定(尼崎中)

皆さん、お早うございます。

本日の地区研修・協議会は、会長エレクトの皆様がクラブの次期指導者の皆様とともに、就任に先立ち、クラブの指導者チームを築き、次年度RIテーマおよび地区活動方針を共有し、各クラブの次年度目標を完成させることを目的としています。そのために、クラブの指導者としてのリーダーシップを学ぶとともに、ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会の次



期リーダーから、皆様の意欲を喚起していただき、協力関係を築いていただく機会を提供することになっています。

この1日、長時間にわたりますが、研修に励んでいただきますようお願いして、挨拶とさせていただきます。



挨拶

RI理事ノミニー 三木 明(姫 路)



皆さま、おはようございます。今日は爽やかなゴールデンウィークの始まりでありまして、絶好の地区研修・協議会日和でございます。今ごろ山で棒を振り回しておられるよりも、今日はずっと充実した有意義な一日になろうかと思っております。大変楽しみにしております。

私は、図らずも昨年の12月にこのような役割を与えられまして、皆様方と同じ年度7月から、RI理事エレクトとして仕事をしなさいということになってしまいました。

ロータリーというところは大変人使いが荒く、そしてまた不思議なところでもあります。私のような普通の人間が役割を与えられ、皆様方に大きなご支援やご指導をいただきながらしっかりと仕事しなければいけないのです。

私の軸足はもちろんこの2680地区でありますから、皆様方のご意見を国際ロータリーに伝えることも私の大きな役割のひとつであると思っております。

そして今、ロータリーでは、柔軟性が大きく捉えられます。この大きく変化するロータリーに、ちょうど皆様方と同じ時期に身を置くというのは、ある意味幸せなことかもしれません。柔軟性というのは何かということをしつかりと考えながら、皆様方のご意見を伝える大きな役割を果たしたいと思っております。

皆様方の力強いご支援をいただき、叱咤激励をいただき、時には温かく見守っていただき、大変甘えたことばかり申しますが、お力をどうぞお貸しいただきたいと思っております。

私は、皆様方よくご存知の通りの浅学菲才であり、肩書は多少変わりますが、中身はずっと三木明のままです。

これからも皆様方と共に学び、歩んでいきたいと思っております。そして、皆様方と共に仕事ができることを大変楽しみにしております。

どうぞよろしく願い申し上げます。ありがとうございます。



次年度RIテーマと地区活動方針

ガバナーエレクト 瀧川 好庸(神戸西)



2017-18年度RI会長紹介

本年度のRI会長は、イアン H. S. ライズリー (Ian H. S. Riseley) 氏です。オーストラリアのビクトリア州、サンドリングラムRCの会員で、職業分類は会計士です。

ロータリーでの活動のご紹介を少ししますと、1978年サンドリングラム・ロータリークラブに入会。財務長、理事、管理委員、RI理事会執行委員、タスクフォースメンバー、各種委員会委員・委員長、地区ガバナーを歴任されています。オーストラリア・ポリオ撲滅活動の元メンバーであり、「ロータリー財団ポリオのない世界のための奉仕賞」を受賞されています。ポール・ハリス・フェローであり、メジャードナー、遺贈友の会の会員でいらっしゃいます。

さて、そのRI会長の2017-18年度のテーマですが、それは

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリー : 変化をもたらす

です。

このテーマを掲げられ、ライズリー会長は国際協議会の冒頭、おおむね以下のような話をされました。

「今週（2017年2月15日～21日）、ここ（アメリカ・サンディエゴ）に集まったのは、私たちが大切にするロータリーが、これからの1年間、そして自分が生きている間だけでなく、その後もずっと奉仕を続け、成長していけるようにするためです。ロータリーが末永く存続し、その重点分野と計画立案において持続可能性と継続性を保てるようにするために、私たちはここに来たのです。（……）次年度を考えるときには、リーダーとなる自分の年度としてではなく、ロータリーの年度として見なければなりません。自分が輝くためにロータリーが与えてくれた1年ではなく、自分がロータリーに与える1年とし、ロータリーが一層明るく輝けるようにしなければなりません。」

こう冒頭に話されて、戦略的な優先事項に言及されました。それは、

- クラブのサポートと強化
- 人道的奉仕の重点化と増加
- 公共イメージと認知度の向上

です。

ついで、この3つの優先事項の具体的内容について説明されました。

会長はまず、会費が増額されたおかげで、クラブをサポートする体制が整った。このロータリーの貴重なリソースを大いに活用してほしいと言われています。つまり、Rotary.org（ロータリーウェブサイト）、My ROTARY、そしてロータリークラブ・セントラルの活用です。

ついで優先事項の説明に移られ、男女会員のバランス、平均年齢に言及されました。

「規定審議会がロータリーに女性の入会を認めることを採択してから、28年が経ちます。しかし、女性会員の割合は、10年前の約13パーセントよりは増えたものの、わずか20パーセント強にすぎません。（……）地域社会のすべての人とつながり、

すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる女性を、ロータリーは必要としています。」と、女性会員の重要性を語られました。

つぎにクラブ会員の年齢構成に関して、「1905年にシカゴで初めてロータリーの例会を開いたとき、ポール・ハリスは36歳でした。今日、40歳未満の会員は、報告済み会員のわずか5パーセントしかいません。たったの5パーセントです。会員の大半は60歳以上です。(……)若い会員の入会促進に真剣に取り組まなかったら、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください。」このことも、私たち日本のロータリアンはよく承知し、何とかしなければと思っています問題でしょう。

2つ目の優先事項、「人道的奉仕の重点化と増加」については、「ロータリーには6つの重点分野があります。そのすべてに不可欠な要素の一つが、持続可能性です。私たちは井戸を掘っただけで立ち去ったりしません。これらの井戸を地域社会が維持し、修理できるように必ず見届けます。クリニックを建てたら、ロータリーが支援し続けなくても自力で運営していけるようにします。ポリオについて言えば、活動の目的はウイルスを閉じ込めることではなく、撲滅することです。

(……) 奉仕のインパクトを大きくする最善の方法は持続可能性を高めることで、多くの場合、他団体とパートナーシップを組むことであると、世界に対して強調するものであるべきなのです。」

3つ目の「公共イメージと認知度の向上」については、「ロータリーとは何か、どんな活動をしているのかを良く伝えられれば、ロータリーにふさわしい新会員の入会を増やすことができるでしょうし、ロータリーの奉仕でより大きな成果を上げるために協力するパートナー団体を増やすことができるでしょう。」と言われ、「これらの優先事項をすべてまとめると、一つの言葉になります。それは持続可能性です。」

「持続可能性には、あらゆることを支えるもう一つの側面」があるとされ、ロータリーではほとんど持ち出されたことがない「地球の持続可能

性」に言及されました。

「今日、環境の悪化と気候変動は全人類への脅威となっています。影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があります。

(……) 環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。(……) 新ロータリー年度開始から2018年4月22日のアースデイまでの間に、各会員につき少なくとも1本の植樹をするよう、すべてのロータリークラブにお願いしたいと思います。(……) 私たちが住み、頼っている地球そのものを救う責任がロータリーにあると、私たちが気づくことです。」

そして、こう結ばれています。「変化をもたらすとは、ロータリーでいつも耳にする表現です。変化をもたらすことは、私たちに与えられた機会であり、私たちが活動を通じて行っていることです。(……) 各クラブとロータリアンがどのような変化をもたらすことを選ぶかは、それぞれが決めることです。しかし、私たちはロータリーという組織とその共通理念、すなわち、倫理の重視と超我の奉仕への献身によって結ばれています。」

RI会長が何よりも望まれているのは、変化をもたらすことによって、持続の可能性を高めるといえることでしょうか。私たちロータリアンが変化することによってその持続を高める対象は、まずは自分たちのクラブであり、ロータリーという世界的組織であり、そして最終的には地球ということになるでしょうか。

以上のRI会長の今年度の方針を踏まえたら、地区の活動方針は必然的に決まってきます。



■ 地区の活動方針

1. 地区内各クラブの強化

昨年度の地区内クラブ数は、2増2減の現状維持73クラブでした。本年度は主に学友関係を対象に、若い会員による拡大・増強が図られればと考えています。そして、女性会員の増加による各クラブの強化も考えなければなりません。

2. 奉仕プロジェクト数の増加と質の向上

私たちの生活の活動基盤は私たちのクラブが存する地域です。この地域のおかげで私たちは生活ができています。この地域への奉仕を第一に考え、ついで地域以外に目を向けて奉仕を考えたいと思います。

3. ロータリーのイメージ向上と認知

私たちがしていることを世間に知ってもらえれば、自然とロータリーのイメージは向上すると考えています。アピールを少し積極的にしたいと思っています。

4. ロータリークラブ・セントラルなどオンラインツールの利用

My ROTARYなどをうまく利用することによって、ロータリーの様々なリソースを求め、またオンラインを通じて報告等を行うことに慣れるようにする。好き嫌いにかかわらず、時代はますますインターネットの利用に向

かっています。ロータリーだけの問題ではありません。

5. 一人一本の植樹運動

各クラブやグループでプロジェクトを組んでいただく一方で、地区としてもこの植樹キャンペーンを考えたいと思っています。

6. クロスプロモーション

複数クラブで、あるいはグループで、複数委員会で、といったように様々な枠を超えて、多様に活動していればロータリー運動も活性化すると考えています。

7. 活動方針と予算化

各クラブ、各委員会は年度当初に1年間の活動方針を定め、それによって予算化を図り、予算で動く習慣を、地区として考えていきたいと思っています。会員の減少により、地区財政もひっ迫していることをお分かりいただければと思います。

その他、ガバナー事務所の固定化、各クラブ事務所の共有化、グループの再編、グループによる活動なども、地区としてアドバイスできればと考えています。

少し具体的に地区方針も決定させていただきました。よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。



2017-18年度RI会長のテーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

●●● 2017-18年度 ロータリーの目標 ●●●

優先項目1の目標：クラブのサポートと強化

1. 効果的な戦略計画を立案、実施するロータリークラブと地区の数を増やす。
2. 会長賞の受賞クラブ数を増やす。
3. クラブ会員基盤の多様性（年齢全般、性別、人種、職業）を高める。
4. ロータリーにふさわしい若い職業人やロータリー学友、自営業、独立業務請負人、個人事業主、退職したばかりの人を勧誘して会員増強を図る。

優先項目2の目標：人道的奉仕の重点化と増加

5. ポリオ撲滅という世界の子どもたちへの約束を果たす。
6. 6つの重点分野における奉仕活動と支援を奨励して、ロータリアンと学友のロータリー財団に関する知識と参加を増やす。
7. ロータリー財団の年次基金への寄付（Every Rotarian Every Yearの推進）と恒久基金への寄付（2025年までの目標20億2500万ドルに近づける）を増やす。
8. 財団への寄付およびクラブ会員増強と奉仕活動の目標をロータリークラブ・セントラルで提出するクラブの数を増やす。

優先項目3の目標：公共イメージと認知度の向上

9. ロータリーの人道的奉仕の影響を明確に伝えられるようにするため、データを集めてクラブの奉仕時間と寄付を数量化する。
10. ロータリーの人道的奉仕が世界にもたらす影響に関する資料をクラブや地区に提供する。
11. ポリオ撲滅におけるロータリーの役割と、ロータリー財団の次世紀に向けた「世界でよいことをする」計画の周知を図る。
12. 多様なメディアを通じてロータリーを紹介するようクラブと地区に奨励する。

全委員会共通事項

- 活動方針を定め、予算を立てて、その遂行状況をガバナーに報告する
- 定めた活動方針を確実に実施する
- 他の委員会や組織と合同で、積極的に事業やセミナーを開催する

研修委員会

- 地区内すべての委員会の研修を援助する
- 地区の指導者及びクラブリーダーの研修を行う

クラブ管理運営委員会

- クラブの活性化を図るための施策を検討する
- クラブ会員の多様化推進のためのセミナーを開催する

増強拡大委員会

- 会員増強・拡大を実現するために、ロータリアン、クラブ、および地区が行うべき活動を特定し、目的達成のために行動する
- セミナーを開催する

公共イメージ委員会

- ロータリーの公共イメージの向上について調査・研究・実施する
- 各クラブのホームページを有効活用するための提言を行う

職業奉仕委員会

- 職業に対する理念と実践について考え、職業奉仕の理想とその実現に向けて討議する
- セミナーを開催する

社会奉仕委員会

- 地域あつてのロータリークラブであることを自覚する

地域活性小委員会

- 地域社会のニーズを精査し、地区補助金を活用したプロジェクトを実施する

教育問題小委員会

- 発達障がい理解のための講演会を実施する
- 様々な教育問題等にも目を向け、会員の喚起を促す

プロバス小委員会

- ロータリーと関係の深いプロバスクラブについて知り、相互の理解推進を図る

国際奉仕委員会

世界理解小委員会

- 世界の平和の一助になれるよう、紛争や貧困問題等への意識を喚起する
- グローバル補助金を活用した積極的な奉仕活動を行う

奨学金小委員会

- 奨学生に多数応募してもらえるように工夫する（奉仕プロジェクト）

VTT小委員会

- 職業訓練を主とするチームの派遣ないし受入れを積極的に行う（奉仕プロジェクト）

青少年奉仕委員会

- 青少年奉仕プロジェクトを継続的に実施するための体制を整備する
- 危機管理委員会と密接に連携を取る

インターアクト小委員会

- インターアクトクラブの活性化を地区として推進する

ローターアクト小委員会

- ローターアクトクラブの活性化を地区として推進する

RYLA小委員会

- RYLAプログラムを地区として実施する

青少年交換小委員会

- ガバナー補佐の援助を得て、交換生のスポンサークラブおよびカウンセラーは、従来の1クラブ単位ではなく、1グループ単位として実施する

※奉仕プロジェクト

- 本年度から組織された、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕をまとめた委員会である
- それぞれの委員会が相互に密接に関係し、この3奉仕委員会が協働して奉仕に向かう
- 奉仕活動合同セミナーを開催する

学友委員会

- 地区及びクラブ行事への学友の積極的な参加を推進する
- 現行プログラム実施にあたり、学友会も参加し、活動の活性化を図る

ロータリー財団委員会

- セミナー等を行い財団への理解を深める

資金推進小委員会

- 年間一人15,000円の年次基金寄付を推進する

資金管理小委員会

- 補助金の適正な管理を行う。補助金管理セミナーを開催する

補助金小委員会

- 地区補助金、グローバル補助金の申請審査を厳正に行う

ポリオプラス小委員会

- ポリオ撲滅活動への会員一人当たり2,000円の寄付を実現する
- ポリオ撲滅推進運動とその周知のためにイベントへ参加する

米山記念奨学委員会

- 米山記念奨学生の厳正な選考を行う
- 日本文化等の企画に積極的に参加を促す
- 年間会員一人15,000円の寄付を推進する
- カウンセラー、奨学生、委員会委員間等の密な連絡を図る

規定審議委員会

- 規定審議会（2019年）の準備を行う
- 決議審議会（2018年）の準備を行う

戦略計画委員会

- 地区ガバナー事務所の固定化について検討し、結論を出す
- グループの再編計画について、再度検討する

危機管理委員会

- 規定や資金面等の管理保護に対して検討し、安全安心を支援する

地区財務委員会

- 収支が正確に保持されているか常時確認する

元気なクラブを目指して -「Intelligence」を磨く-

次期地区研修リーダー 中村 尚義(洲本)



2013年、2016年の規定審議会を経て、各クラブ(RC)や国際ロータリー(RI)の諸規定が大幅に変わってきました。そのために、研修やセミナーの機会が増加傾向にあります。その目的は、ロータリーを正しく広め、公共イメージを高め、世界平和に貢献できる人材を一人でも多く発掘しようとするところにあります。でも実態としては、RCは変更される諸規定についていくことが出来ずRIとの距離は広がるばかりです。

次年度の研修はここに着目し、研修やセミナーでロータリーの不易流行つまり本質と現象を同時に学び、奉仕の実践に結びつけていこうという試みを考えています。其れは同時にクラブに活力を与え、元気なクラブが蘇るものと確信いたしております。

ただし条件があります。数ある情報(Information)を、自分のものとする情報、所謂、考える情報(Intelligence)に変えなければならない。ロータリアンとしてこの「Intelligence」を磨くことが求められます。数ある情報を自分の頭で考え処理する能力を磨く、それは個人の力によるものです。これができなければ研修やセミナーをやっても効果は出ない。そのために、クラブには研修リーダーもしくは研修委員長の選任をお願いしたい。その役割は、クラブ内での包括的な研修プラン(様々な研修やフォーラムの開催、新会員の指導的立場)を立てる。そしてクラブ研修リーダー会議を是非やりたいと思います。

I 国際ロータリーの目的(PURPOSE)と標語(MOTTO)

RIの目的を要約すると、(a)奉仕理念の提唱・追究 (b)クラブの拡大 (c)クラブ間の調整・情報の媒介、であります。標語(モットー)は次の二つ。「Service above Self = 超我の奉仕(人のために尽くす、命を懸ける)」と「One profits most who serves best (最も良く奉仕する者、最も多く報いられる)」で、前者は心の持ち方であり後者は実践的な倫理原則です。ロータリーを学ぶことは実践に役に立つ実学です。清く豊かに。RIは本質をしっかり守っていることとなります。いずれも、ロータリーの「高潔性」を表す言葉ですが、どうしてこのような言葉が生まれたのでしょうか。

1905年、シカゴRCが誕生してしばらくすると入会者が後を絶たない。良質な人に入会してもらうためにハードルを高くします。そこで、いろいろな倫理基準を設定しました。実にロータリーは社会的にも高い評価を得ました。ところが、時代が変わって現在はハードルを下げ、これらの言葉は抽象的で実用性にかけるため理解できなくなってきた。これらの諸事を基本的に理解するには、地区やクラブでの研修は欠かすことができなくなりました。

クラブの教育力は研修に決まったものではなく、日頃の例会運営や多くの会合でも発揮することができます。若い新しい人が入会して楽しむのは「飲み会」や「ゴルフ」ばかりではないはず。むしろ何か心に触れ、人生の糧を得た時にその喜びは倍になるのではないのでしょうか。

II ロータリーを学び、行動する

1. ロータリーの理念(基本理念)はクラブの基盤

RIは基本理念を根底においたロータリー活動を求めています。基本理念が疎かになると、さじ加減的なクラブ運営をやる。適当にやるから行動、或いは判断に一貫性がない。この悪循環でクラブの基盤は弱くなります。

この<基本理念>は2016年版手続要覧のトップに掲載されているので必ず読んでおいて欲しい。

12項目のうち代表的な2つを選んでみました。

※「社会奉仕に関する1923年の声明」

これは、ロータリアンとしての「心の基準」と「奉仕活動」の在り方を示す優れたドキュメントです。先ほどのRIの2つのモットーも含まれています。「ロータリーは、基本的には一つの人生哲

学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。」＝利己と利他の調和。そのように、ロータリーとは人生哲学であり、奉仕の心を育てる一定の思想であり、例会場はその人間性を高めるところ。ロータリーを語り、人生を語ることの楽しさがいっばいに広がります。ルールの変更ばかりやっているRIも、この高潔性は守ろうとする姿勢が伺われます。（詳しくは職業奉仕部門で取り上げる）

※中核的価値観

親睦（心の涵養）・高潔性（誠実・魂）・多様性（夢とロマン）・奉仕（心の適用）・リーダーシップ（徳・調和・志）（ ）内は私の解釈です。

親睦と奉仕を中心に考えてみます。ロータリーは2分類で考えると分かりやすい。「親睦で心を涵養し、その心を適用するのが奉仕」と考えると、とてもシンプルです。それを、高潔性を多様性とリーダーシップという円で包みます。やさしく愛を込めて。（詳しくは幹事部門で取り上げる）

2. クラブ管理運営の在り方

<元気の良いクラブには理由がある>

- ①2016年版標準クラブ定款の採用。クラブの目的や委員会の新設、また、例外規定など問題を多く残していますが、先ずはどのような内容になっているか理解する事が重要です。クラブ細則も重要な役割をします。このあとのクラブ管理運営部門で詳しく取り上げる予定です。
- ②自分だけが「ノー」と言えますか。カルロス・ゴーン氏はリーダーシップ講座で次のように言っている。誰もが「従来通りでいい」という中で、自分だけ「ノー」と言える人こそリーダーである。
自分の頭で考えて自分の意見を云えるリーダーを求めています。クラブリーダーのみなさん、理事会は機能していますか。
- ③クラブの鮮度は保たれていますか。RCは地域のしがらみ社会とは違い、合議制を旨とする横型の組織です。重要な案件は会員の意見を十分反映させることが要諦です。自分の意見を持ち、ぶれない自己を作ることが求められます。ところが最近、ロータリーに興味を示さない或いは無関心な会員が如何に多いことか。まさに日本のロータリーの危機と言われる所以です。
- ④例会が待ち遠しいですか。親睦は図られていますか。常にクラブ例会やロータリーの各行事を待ち

望むロータリアンがいてはじめて、ロータリーには明日があるといえます。親交の輪を広げ、互いの職業について学びあうために例会の時間を費やす。例会以外にも親睦会をやってほしい。そこには奉仕のリソースが隠れています。隠れているから妙味があるのです。

3 奉仕プロジェクトの推進

- ①奉仕（Service）の意味するところは先ほど申し上げました。Service above Self=I Serve（人のために尽くす）ジェントルマンシップを表す高潔な言葉。We Serveとは次元が違います。
- ②他人のお金で奉仕をする重み。このことを改めて考えてみたい。佐藤千尋氏（実業家・東京江北RC）は生前、深川純一PDGと親交が厚く、「他人のお金で奉仕するという虚構」とまで述べられました。そこまで厳しく考えないにしても、「他人のお金で奉仕する責任の重み」は一人ひとりが真剣に考えなければなりません。今やろうとしているプロジェクトは社会から起こるニーズなのか、社会にどのような影響を与えるプロジェクトか、目的は何か。高潔性が根底に無ければ事業の成功はないといえる。皆さんのクラブの社会的存在意義はここに在ります。

「人が誰かを助けようと手を差し伸べるとき、それは同時に自分自身を助けることにもなるのです。なぜなら、その行為により、道義的にも精神的にも成長することができるからです」（ラハリーRI会長、1962-1963年・カルカッタRC・インド）
また、「ロータリーの奉仕は、そこにひとかけらの野心を持つのではなく、ロータリー哲学に基づく相互理解、友情によって世界中が授け（助け）あおうという奉仕の心です」（齋木亀治郎PDG・姫路RC）とあります。奉仕プロジェクトの神髄を表した言葉と言えるでしょう。

要約すると、1. プロジェクトなど重要な案件は会員の合議のなかで決める。2. 会員のニーズではなく社会のニーズを汲み上げる（奉仕する者、受益するなかれ）

最後になりました。ジョン・ガードナーは、「世界を動かしているのは、意欲溢れる人々、情熱に満ちた人々、強い目的意識を持った人、またゆるぎない信念を持つ人々だ」と言う。本日の協議会出席者の2割いや1割でも良い。現状に変化をもたらして欲しい、そして、クラブに変化をもたらして欲しい。その原動力は皆さんの生き方そのものだと思えます。誠実に、謙虚に、爽やかに元気なクラブを目指しましょう。

規定審議会

次期規定審議会委員長 大内 晋二(神戸須磨)



2016年4月10～15日、米国イリノイ州シカゴで規定審議会が開催された。規定審議会は、ロータリーの方針や組織のあり方につき、審議決定するロータリーの立法機関であり、3年に一度開催される。今回の規定審議会では、ロータリーの組織規定(RI定款、RI細則、標準RC定款)が大幅に変更された。

(1)クラブ例会、出席に関するもの

例会頻度(RC定款8条1節)と出席(RC定款12条)、例会欠席による会員身分終結(RC定款15条4節)に関する定款の規定に対し、RC定款7条が新設され、クラブ細則に優先権が与えられた。

(2)会員身分や会員資格条件に関するもの

RC定款10条2節(「会員の種類を正会員、名誉会員の2種類とする」)に優先して、クラブ細則で新たな会員身分(準会員、家族会員など)を創設できることになった。

また、RI定款5条第2節の改訂により、資格条件が実質的に「世評の良い人」に簡素化された。

(3)クラブリーダーシップ・プラン(CLP)推進を目的とするもの

RC定款5条「目的(旧綱領)」とは別に、3条「クラブの目的」が新設された。その内容は、クラブリーダーシップ・プランが掲げる「効果的なクラブの4要素」を「クラブの目的」とするものである。

さらに、RC定款13条第7節に「委員会」規定(任意)が新設された。その内容は、RI理事会が

CLPを導入に際し推奨RC細則に掲げたもので、それがRC定款に格上げされた。

上記の(1)(2)(3)の改定のベクトルは、「会員の増加」や「奉仕プロジェクトへのクラブ意思決定の迅速性」に向いている。さらに改定の中心部分はいずれもRI理事会の提案であったことを考えあわせるとき、「人道的奉仕にのめり込み過ぎではないか」と多くのロータリアンが危惧するのはむしろ当然のことだ。

ロータリー運動は「ロータリーの目的(綱領)」にある通り、「意義ある事業の基礎として奉仕理念を推奨する」職業人の倫理運動であり、そしてセントルイス国際大会(1923年)第34号決議が明らかにしたように、ロータリーとは個々の職業人が「利己と利他との調和=奉仕理念」を全うしようとする人生哲学であり、ロータリークラブはこの奉仕理念を団体(良質な親睦)で学ぶことを目的とした社交団体なのだ。「定期的例会出席」や「職業分類による限定会員制」は、この奉仕理念の培土であるクラブ親睦の良質性を守るための、ロータリーの屋台骨であった。それがロータリーをロータリーとして識別し、全ロータリアンが共有する、刻印であった。この四半世紀輝きを失ってきたが、この規定審議会の「柔軟性」によってすっかり剥がされてしまった。

月2回の例会で本当に良質な親睦を築き深め得るか。職業を持たない会員や、身分に差異ある準会員などとの間で奉仕理念への志を共有できるか。CLPの「効果的なクラブの4要素」がクラブの営為の指標となり得るのか。

今回の規定審議会での大幅な改定にもかかわらず、「奉仕理念」は守られた。ロータリークラブのテーマは、良質な親睦のうちに奉仕理念を学ぶ、ということ。クラブ運営に当たって、このことを今一度噛みしめることが必要ではないか。そして、一年間のクラブ指導者としての思索や実践の中で得られた意見を、草の根の提案として、次回の審議会に提出しよう。ロータリー運動を支えるのは、ロータリアンでありロータリークラブである。とすれば、草の根の提案こそが、ロータリーを力強く発展させるエネルギーとなると言えるのではないだろうか。

「ポジティブなエネルギーを未来に繋ぐ」

ロータリー財団学友(2001-2002年度姫路中央RC冠名奨学生) 佐藤 恭子



2001-2002年度に、姫路中央ロータリークラブ冠名奨学生、アメリカはボストンのパークリー音楽大学に派遣されました佐藤恭子です。今日は私の財団奨学生としてのアメリカ生活と、そこで学び得たいいろいろな経験をお伝えさせていただきたいと思います。

大学の先輩から伺って応募しました。姫路中央のロータリアンの方々が、一番面白そうだったし、一番将来につながりそうな気がしました。文化や芸術が、人々の心に与える影響は大きい、とおっしゃってくださったのはとても印象に残っています。

現地では、入学式直後に、9・11のテロを経験。もし、留学したのが、ボストンではなくNYだったらと思うと、人生はどこでなにが起こるか本当にわからないと、毎日元気に生きていることに感謝しました。休暇の度に、ホストロータリアン御夫妻が、ご自宅に招待してくださって、泊まりにいきました。ご主人クラウスさんは光学レンズのお仕事、グレニスさんも主婦という職業枠で入会されていました。お世話になったスターブリッジのロータリークラブは、例会は月曜日の夜、15~20人くらいのロータリアンのみなさんとアットホームな夕食会を愉しませて頂きました。また、NORTHEAST LINKという、奨学生が一堂に会する機会があって、とても刺激的でした。留学生だけではなく、現地のロータリアンの方々ともたくさんお会いでき、多種多様な価値観や考え方に触れられたのは本当に貴重な経験でした。

パークリー音楽大学は、留学生が多く、多様な生活レベルやスタイルに驚くことばかりで、いかに日本がよい国であるかというのも感じました。異文化を肌で感じ、比較対象が生まれることで、客観的に

自分の国を考えることができ、日本人のアイデンティティとか、祖国に対する愛情が芽生えつつ、文化、民族、価値観の違いの中で、言語の壁、差別、人間関係など迷うことも苦悩も多かったです。

そんなときに、よく助けていただいたのが、4つのテストでした。真実で誠実であるかどうか、関わる人みんなにとってフェアであるかどうか、皆がそこに関わる意義や喜びを見出し、友情を育めるかどうか。ある人にとっては成長だったり、ある人にとっては金銭だったり、生きがいが欲しい人、キャリアが欲しい人、ある人にとっては孤独からの回避だったり。いろんな利害が絡む中で、それぞれが望む利益をちゃんと還元できるかどうか。そこに存在するだけできつと誰かのためになっているという、一つ一つの小さなつながりの連鎖が世界を形作っていて、その中で各々が、自分だからこそできる役割を見つけ、そこに毎日真摯に向き合い、そして、力がある人は力を、お金がある人はお金を、知恵がある人は知恵を、癒しを持つ人は癒しを、それぞれのもつプラスのエネルギーを解き放ち、時に与え時に受け取りながらエネルギーを循環させることによって、世界はよりよい形で未来に進むと考えますが、それを社会貢献と言ったり、奉仕の精神と言ったりするのはないかなと思います。

また、ロータリーのロゴの意味は、当時の文明の進歩と、例会の会場が当初各会員の持ち回りだったということに由来するそうですが、私には、ロゴのマークは、人間が持つ善の心や、明るくポジティブなエネルギーを、未来に運んでいくように思えます。



報恩・奉仕・繁栄

よねやま親善大使 于 咏



国際ロータリー第2680地区の皆様、こんにちは。
ただいまご紹介を賜りました、第2代目米山親善大使の于咏と申します。

本日、国際ロータリー第2680地区・地区研修協議会にお招きいただきまして、誠に有難うございます。皆様と、有意義な時間を共有させていただき、大変光栄で嬉しく思っております。

皆様はご存じの通り、2017年はロータリー財団設立100周年であり、と同時に、日本独自のロータリー事業－米山記念奨学公益財団の設立50周年でもあります。

世界各国の留学生を支援するロータリー米山記念奨学事業について話をさせていただきたいと存じます。

「飲水思源・原点回帰」

中国のことわざで、「お水を飲む時、その元のルーツを考えよう」という意味で、つまり何事をして、その初心を忘れず原点に戻り、感謝するという教えなのです。私はちょうど10年前、米山奨学生になり、そして学友、現在よねやま親善大使に至っております。では、米山のルーツ、米山の「原点」は一体何でしょうか。まずそれについて考えてみたいと思います。

「米山」の名称は、もちろん日本ロータリーの父である米山梅吉氏に由来するものです。日本のロータリーは、第2次世界大戦中に国際ロータ

リーから脱退しました。戦後の1949年に復帰しましたが、残念ながら、米山梅吉氏はそれを待たずに、この世を去りました。1952-53年度、東京RCの会長 古沢文作さんは、米山梅吉氏の功績を記念し、「米山基金」を提案しました。

これは、米山梅吉氏が、生前、東南アジアに深い関心を持っていたことから、ロータリー財団の奨学制度に模して、年2名の奨学生をアジア諸国から招致しようとする計画でした。

米山奨学制度は、1952年12月3日に、成案が可決され、第一期の募金計画の目標額は260万円でした。面白いことに、その寄付第一号は、アメリカ人ロータリアン、ウイリー・ネルソンが寄付してくれたものです。正に、国際奨学事業の発足に相応しい情景でした。

「日本ロータリアンの夢」

1952年、戦後10年も経たず、日本中はまだ物資が乏しく、国を再建している最中です。余裕がないにもかかわらず、なぜ、自分たちの国の学生ではなく、外国人留学生を支援するのでしょうか。そこにあるのは実は、日本ロータリアンの「平和」への強い信念でした。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」と、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

このように「二度と戦争の悲劇を繰り返さない！国際親善と世界平和に寄与したい」と、当時の日本のロータリアンたちの夢であり、平和な世界を作ろうとしたのです。その結果は、米山基金の誕生であり、その結果、今日の日本は世界最も平和で安全な国になったのです。

「徳不孤、必有隣」

また中国の諺ですが、「徳は孤ならず、必ず隣があり」。徳積みの善行を行えば、必ずそれを認めて賛同する人が出てくるという意味で、東京RCからスタートした「米山基金」は、わずか5年間で「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され、日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展しました。その後、「月に煙草一箱を節約して」の合言葉によって、会員1名当たり月額50円の寄付金を募る運動が始まりました。

月にタバコ一箱の事業は、現在、60年も歩み、国際ロータリーにも認証された日本ロータリーの大事業となっています。

「民間最大の国際奨学事業」

日本ロータリーの大事業のみならず、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では、国内最大規模となっています。2017学年度の奨学生数は750人、これまでに支援した奨学生数は累計で約2万人となり、その出身国は、世界124の国と地域に及ぶこととなっています。

「人づくりの事業」

ロータリーの品格と高潔さが一貫し、米山記念奨学事業も、将来母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援しています。年間750名の採用ですが、日本全国208,379人留学生（平成27年度）の中から選ぶもので、極めてハードルの高い奨学金なのです。千人当たり、4人しか米山奨学生になれないという名門中の名門なのです。

実際、この出身校リスト及び博士号の取得者数を御覧いただきますと、お分かりになると思いますが、米山は、優秀な留学生を更に成長させる「人づくり」の事業なのです。

「2680地区の米山奨学事業」

さて、2680地区の米山事業をクローズアップしてみましょう。

1965年4月、神戸RCは第一号の奨学生、台湾の邱さんを受け入れ、経済学博士を取得しまし

た。以来、1965年～2017年の52年間、2680地区において、65のクラブは、30カ国・地域からきた、累計723名の奨学生を世話しました。その中、博士号の取得者は227人もいます。半世紀の歩みで、当地区の米山事業は本当に誇り高い功績を築きました。

更に、神戸を中心としたPHD事業にも支援し、今度35年目を迎えています。

「親日の輪を世界中で広げる」

この「人づくり」は、米山記念奨学事業で最も重要視されている「交流」を通じて、また最大な特徴でもある「カウンセラー制度」の元に、実現されています。その結果として、真に日本を理解し、日本を愛する親日派が世界中に育ちました。

米山奨学期間が終わった後も、学友会という形で、学友同士の友情を深め、ロータリーとの接点を持ち続けています。現在、日本国内に33、海外には台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴルと、9つの学友会があります。

「ロータリアンになる」

米山と出会って、ロータリーという組織を知って、憧れて、更に組織の一員となった学友が220名います。そのうち、約100名は日本のロータリークラブに所属しています。私もその中の一員です。

「ロータリークラブを発足」

更に、米山学友を中心に5つのクラブも発足しました。最初にRIに加盟承認された「台北東海ロータリークラブ」は、なんと日本語を公用語にしています。会員は心の中で、日本を故郷だと見なしているのですね。

「米山奨学事業に寄付」

米山奨学金を頂き、それをフルに活かし、それぞれの分野で成長し、成功した学友達は、また米山に寄付し、後輩達の奨学事業に寄与しています。

学友の姫軍さんは中国から2007年より毎年50万円、張ゆ安さんは、アメリカから毎年1,000ドル、

そして日本国籍に帰化した清野さんは、2009年から毎月1万円と、継続的に米山に寄付しています。学友による米山記念奨学事業への寄付金額は、すでに2500万円を超えています。

「滴水之恩、湧泉相報」

また中国の諺ですが、「滴水之恩、湧泉相報」しずくのような恩恵を受け、湧き泉の如く恩返しすべし。貧乏の時いただいた資金を、富を築いた後に返す。しかし、それは単なるお金だけではありません。お金そのものより遥かに深遠な意味を持っています。それは、ロータリーの奉仕精神であり、平和と友愛の聖火リレーそのものなのです。

「超我の奉仕・生涯米山功労者」

私も素晴らしい先輩たちに見習い、一昨年より毎年米山功労者になると決めました。そして、旅先のインド、ヨルダン、イスラエル、キプロス……。至るところのロータリークラブを訪問し、日本独自の米山奨学事業の素晴らしさをPRさせていただいております。

「End Polio Now」

2010年に日本初のポリオ撲滅チームにも参加させていただき、全国から集まったロータリアン有志者と一緒にインドに行き、ポリオのワクチン投与をしてきました。



「自己紹介」

さて、ここまでいろんな話をさせていただきましたが、では、私ってどんな人でしょうか。自己紹介が遅れて大変失礼いたしました。私は、中国天津の出身で、21年前初来日しました。

1996年9月～1998年3月 愛知淑徳大学留学生別科
1998年4月～2002年3月 名古屋大学教育学部
2002年4月～2008年3月 名古屋大学大学院教育
発達科学研究科
心理学博士
臨床心理士
2008年4月～2016年7月 学校法人セムイ学園
専任講師

その後、ジブラルタ生命保険株式会社に転職し、現在に至ります。

2005年4月～2007年3月 米山奨学生 名古屋中
RC
2014年5月～現在 愛知ロータリーEクラ
ブに入会
2015年7月～2017年6月 第2代目よねやま親善
大使

私の専門は臨床心理学です。「臨床心理士」という資格があり、心理カウンセリング、心理治療を中心にした臨床実践となります。私は、2002年名古屋大学の修士課程に入ってから、心理発達相談室、中学校、精神病院など臨床の場で心理検査・治療の活動に携わってきております。児童の自閉症など発達障害；学生の不登校・引きこもり；成人の不安障害、うつ病、アルコール依存など、各年齢層で、多岐を渡ってメンタルヘルスの問題に取り組んできました。また、欧米人を対象に、英語のカウンセリング・サービスも提供しています。

仕事ですが、心理学の専門教育を始め、中国における歯科技工と歯科医療の教育、人体解剖の実習、医学英語などに医学や歯学の教育にも携わり、更に、海外のいくつかの国々から留学生を受け入れたり、学術交流を行うなど国際業務も展開し、前職である医療系専門学校で8年間勤めまし

た。より多くの経験をしたいと思い、昨年8月にジブラルタ生命保険株式会社に転職し、現在営業所長をしております。

「Long long time ago」

今、舞台に立って堂々と話している自分がいます。しかし21年前、来日当初、私は全く日本語が話せませんでした。今でも鮮明に覚えています。が、当時は渡航費を抑えるため、飛行機ではなく、船で日本に渡ってきました。実は、私が上陸したのは、この地－神戸でした。天津から神戸港まで2日間がかかり、船酔いで死ぬほどの思いをしながら日本にやって参りました。

21年前の中国は、今の爆買の中国と全然違い、まだまだ貧乏でした。両親1ヶ月の収入は3万円で、ほぼ家族の全財産をかけて、私の1年間の学費と生活費、150万円を捻出してくれたのです。当時の私は、殆どの留学生と同様に、社会の最低層にいました。勉学生活を支えるため、理容室の掃除、新聞配達、洗い場、そしてスロット屋や雀荘など一生懸命アルバイトをし、学費をコツコツ貯めて、頑張っていました。

新聞配達のアルバイトでは、初めてバイクに乗り、乗った初日に転んで怪我して、未だに消えない傷跡が残っています。

また、中国で親に甘やかされて、ほとんどキッチンに入ったことも、家事をしたこともなかったのですが、日本に来て初めて、山積みのお皿を洗いました。日本に来る前、レストランでは常に顧客だったのが、日本に来て、初めてレストランの中で立たされ、「いらっしゃいませ」と言わされました。しかし、恥ずかしくて言えず、笑顔も作れず、涙を流しました。

若かったこともあり、異国での生活は、実は大変でした。様々な悩み、戸惑い、躓き、苦しみ、全て味わいました。あまりにも苦しんだ結果、今の専攻にたどり着きました。心理学を勉強すれば、少しでも自分の精神的な苦しみが軽減できるのではないかと、極々素朴な動機でした。

「ロータリー米山と出会い」

でもでも、ラッキーな私！ ここでロータリーという組織に出会いました。

いいえ、ロータリー米山との出会いは、ただの「ラッキー」ではありません。この出会いは、私の人生の前半において、最も幸運な出会いなのです。しかも、私の生涯に影響を与え続けるものであると違いません。

皆様の寄付金は、全て米山記念奨学金として使われ、留学生の手元に届くのです。私も、毎月14万円をいただきました。もし時給1000円で換算すれば、毎月140時間の自由時間が得られるということになります。月140時間！ 毎月140時間も自由時間が得られるのであれば、どれだけ沢山勉強できるのでしょうか！

繰り返しますが、米山奨学金はただのお金ではありません。それよりも大事なのは、皆様ロータリアンとの出会い、交流自体が、我々留学生に良い人生の模範となったことです。なるべき人間像、成功した人生とは何か、漠然とした理想像が、皆様によって具現化され、皆様の姿として現れたのです。お蔭様で私は成長しました。日本語が殆どいらぬ肉体労働から、翻訳、通訳、そして自分の専門領域の講師まで、知的労働者に成長しました。12年間にも亘る留學生活の頂点に至ったのは、ロータリー米山と出会ったお蔭であり、皆様のお蔭なのです。

これは決して私一人のサクセスストーリーではありません。約2万人の米山奨学生、皆がこのようなストーリーを語れる、米山だからこそ出来た「人作り」の素晴らしい事業です。

「Thanks to Rotary」

20万人も超える在日留學生の一人であった私は、海辺の一粒の砂のような存在でした。但し、この砂はとてもラッキーで、美しい貝殻であるロータリークラブ、米山奨学会に出会えたわけです。そこで栄養を頂き、磨かれて洗練され、真珠のようにきれいに変身し、成長していきます。

「報恩・奉仕・繁栄」

いろいろ話をさせていただきましたが、一言でまとめれば、「報恩・奉仕・繁栄」ということです。

報恩、奉仕、繁栄。恩を知り、常に感謝の気持ちを持って、人々のため、社会のために超我の奉仕を行い、社会の繁栄と世界の平和を目指し実現していく。

「人間の生きる目的」

ロータリーと出会ってから、私は人間の生きる目的を見出しました。大変シンプルです。

1. 自ら成長すること
2. 人々のために尽くすこと

ロータリーは、この二つの目的の集大成であります。

「This is Rotary!」

これがロータリー！人間として成長しつづける舞台なのです。

この素晴らしい舞台に立たせていただいているのは、全て皆様のお蔭です。皆様との出会いは、私の人生の宝です。心より深く感謝申し上げます。ご清聴、どうもありがとうございました。



会長部門

リーダー 瀧川 好庸(神戸西)



4月29日の地区研修・協議会開催2日前の27日に、「クラブ会長エレクトへ」と題して、RI会員増強担当ディレクター、ブライアン・キング氏よりメールが入り、

1. 新会員の入会と参加を積極的に促進
2. クラブの健康チェックを実施
3. クラブの紹介パンフレットの作成

を各クラブ次期会長に求めてきた。まず、このことを記しておきたい。

当地区は73クラブを13グループに編成した体制をとっている。各グループのガバナー補佐に司会をお願いし、グループごとにまとめ、提出していただいたディスカッション報告書に基づき、その概要をお知らせする。

なお、ディスカッション時間が1時間程と短く申し訳なかったが、

1. クラブの活性化について
2. グループ・クラブ活動計画、次年度の取り組みについて(植樹、チャリティイベント、青少年)討議があった。雑駁ではあるがまとめ報告する。



1について

例会関係：楽しくする、一般に公開する、席の非固定化、月間テーマの掘り下げ、出席率の向上、他クラブ訪問(メイクアップの推進)、プログラムの多様化、2週に1回に、家族例会、会長の時間の充実、夜への移動、会場の変更等々。

例会外活動：同好会の充実、研修会の開催、食事会、女子会、ベテラン会、ベテランと若手の交流会、地区補助金に拠る活動および活性化、行政や商工会議所等を含めた他団体との協働、クラブ活動のグループ活動への発展、ローターアクト、インターアクトの設立と支援、卓話集の発行等々。

会員増強：女性への入会勧誘、SNSやLINEによる入会勧誘等々。

2について

植樹については、クラブやグループで実施するという意見がある一方、植樹より間伐や伐採下草刈りなどの山間の整備、あるいは寄付し行政へ依頼した方がいいなどの意見があった。

クラブ活動計画については、地区補助金を利用したの活動を各クラブとも考えている。

また、青少年関係については、小学生オーケストラやコンサートを行う。あるいはナショナルキッズデイの開催を考えているクラブもある。子供食堂への支援、少年サッカー、野球へ支援等々。

チャリティイベントについては、ゴルフコンペその他によるチャリティを積極的に計画しているクラブやグループが多い。

以上、大雑把であるが、会長部門の分科会報告とする。



幹事部門

リーダー 矢坂 誠徳(神戸西)



幹事部門はリーダーの矢坂誠徳次期代表幹事の開会挨拶に始まり、基本講話としてカウンセラーのバスターガバナー中村尚義次期地区研修リーダーによる「幹事の役割と心得」について約20分拝聴しました。内容は国際ロータリー（RI）の提唱する中核的価値観、即ち、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ。この解説を懇切丁寧に述べられ、この中核的価値観はロータリー活動のみならず、私たちの日常生活にも重なり合うものであると、結論づけられました。その話しぶりはもとより、密度の濃い講話であり、我々が常に心がけなければいけない重要な内容でした。

続いて幹事体験談および質疑応答として、副リーダー神谷誠治代表幹事によるクラブ幹事体験談、副リーダー多木有次々期代表幹事のクラブ会長として幹事を語るお話。副リーダー富田博重次期規定審議副委員長によるクラブ幹事、会長体験談と続きましたが、より良いクラブ運営を目指す幹事さんにとっては、手引書のようなものでした。その合間合間に、事前に各クラブ次期幹事さんに提出していただいたアンケートの内容を含めて、進行役の矢坂誠徳が調整いたしました。

また、村野利昭ロータリーの友次期地区代表委員よりロータリーの友についてのお知らせがあり、ロータリークラブセントラルに関して山口宰次期副代

表幹事が説明して、最後に連絡事項、報告事項で締め括りました。

「門より入るものは、これ家珍にあらず」とは古来中国の言い伝えです。他からもらい受けたものに、家宝として秘蔵するに足る真の価値あるものはない。自己の内に本来あるものこそ永遠の価値ある宝であると。是非、各ロータリークラブの中の宝とは何かをお考えいただき、クラブの要の幹事職を直向きに全うしていただくことをお願い申し上げます。



クラブ管理運営部門

リーダー 常次 佳丈(神崎)



武井宏之SAAの開会の辞、配付資料を確認して、城守副委員長の司会で分科会が進行しました。

常次佳丈委員長挨拶で、各クラブの皆様方に、明るく元気でアクティブなロータリークラブ運営をお願いしました。

クラブ奉仕には精神世界の側面と定款細則論の二つの側面があり、精神世界の面は即ち、ロータリアンが親睦の内に自己研鑽し仲間と共に切磋琢磨して奉仕の心を作る。そして、クラブの例会を一步出ると、そこは奉仕の実践の場であり、奉仕の心をロータリアンの生活全般に適用することを奉仕の実践とされています。

次に、元気なクラブづくりの資料として『クラブの健康チェック』を説明しました。今後、各クラブで活用して頂きたい。

瀧川好庸2017-18年度ガバナーの諮問事項とお願いを報告しました。

1. クラブの活性化を図るための施策を検討する。
2. クラブ会員の多様化推進のためのセミナーを開催する。

お願いは、各クラブのホームページを見直し充実してほしい。

中村尚義次期地区研修リーダーからの要望を報告しました。

1. 各クラブに研修委員会と研修リーダーを設置して頂きたい。

2. 研修リーダーの地区セミナー開催時の参加依頼。

そして、もう一つの側面の定款細則論については、委員会のクロスプロモーションで大内晋二次期規定審議委員長に基調講演をお願いしました。

テーマは『標準ロータリークラブ定款』で、(新旧比較文)(採択された制定案)を使って、30分間の講演を頂きました。

続いて、8~9クラブをグループとして、班毎でのディスカッション。

城副委員長によるディスカッションテーマの説明がありました。

新玉正男委員、福山太一委員、木嶋一二委員、久保恭利委員、山地秀俊委員、横井哲行地区委員等が班長となり、班毎に書記を任命して、議事録の作成をお願いいたしました。

テーマは3項目です。

1. 『各クラブの定款変更状況とクラブ細則変更状況について』
2. 『各クラブのクラブ研修リーダー選任状況について』
3. 『アンケートで知りたい、各クラブ現況の項目について』

各班、40分間、熱心に討議して頂きました。時間不足でもありましたが、議事録については、地区クラブ管理運営委員会として、活用していきたい。

最後に滝内秀昭次期研修副委員長からクラブ管理運営委員会の解説とMy ROTARYの活用についての説明を頂き閉会の辞となりました。



増強拡大部門

リーダー 野瀬 操(姫路西)



10時30分からの地区研修・協議会全体会議終了後、15時から1時間半の予定で、増強拡大部門分科会を行いました。

9テーブルでのディスカッションを行うにあたり、100名を超えるクラブから一桁クラブまでの温度差の違う73クラブの配席分けを委員会で検討しましたが、クジ引きで決めるということになり、テーブルリーダー・書記はテーブル毎にじゃんけんで決めるという暴挙に出ましたが、結果的にはこれが各テーブルの親密感を醸し出す一助となったと思っています。

プログラムは、関和SAA（神戸西）によるリーダー・笹倉副リーダー紹介から始まり、四方克明次期増強拡大委員会副委員長の進行のもと、野瀬操次期増強拡大委員会委員長の挨拶、詳細を神名大典次期会員増強小委員会委員長、梅原可奈子次期多様化小委員会委員長、徳梅明彦次期学友委員会副委員長と続き、メインのテーブルディスカッションを行いました。

6月17日開催の「2017-18年度地区会員増強セミナー」との連続性を考慮して、テーマは、

- (1) 若年会員入会について
—若い世代から見た魅力あるクラブはどのようなクラブだと考えますか
- (2) 公共イメージ向上について
- (3) 退会防止について

としました。約50分間、それぞれ熱心に議論していただけたと感じています。

内容詳細等は、6月17日上記セミナーにおいて配付する予定です。

16時20分、北川則行次期公共イメージ委員会委員長の委員会紹介・閉会の挨拶で終わりました。



職業奉仕部門

リーダー 福間 則博(宝塚)



RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」及びガバナーエレクトの諮問事項「職業奉仕の理想とその実現に向けて討議する」を受け、分科会においては、第1に、ロータリーが変化をもたらすとするならばその原動力は何か、それが「超我の奉仕」であるとすれば、その内容は何であるかを明らかにし、第2に、当委員会自体が何らかの変化をもたらすことを目標として、分科会の内容を構成した。

まず、リーダー福間より、ロータリーは一業一会員の原則によって選抜された会員が高い職業倫理を持って職業遂行したことから高い信用を獲得し、職業奉仕はロータリーの中核的な奉仕とされてきたが、近時、会員資格に職業が不要とされるに至り、職業奉仕はロータリーの本質ではないかのような状況になっている。しかし他面、これは職業奉仕の基礎にある「奉仕の理想」が職業の壁を超えて一般化していく過程であるとも考える。かかる状況下で、ロータリーの進むべき方向をどう考えるかが重要である旨指摘した。

次に、「みんなで読もう！ロータリーの目的と決議23-34」と題して田中賢一副リーダーと司会大平祐規子委員との掛け合いにより目的等の解説を行い、

副リーダーにおいて、ロータリアンは常に「奉仕の理想」を根底に置き、世のため人のために意識する必要があり、その内容が利己的な欲求を超えていこうとする「超我の奉仕」である以上、ロータリーは一生追いかけていく「哲学」であるかもしれない等の説明がなされた。

さらに、小野哲嗣委員より、前年度職業奉仕アンケートを分析し、「職業奉仕が難しい」とされるのは「職業奉仕」の概念の理解が難しいのか実践が難しいのか不明確なことにも原因があるのではないかと指摘がなされた。

その後、リーダー福間より、「超我の奉仕」は経済的繁栄と会員の友愛につながるのと指摘をし、もしロータリアン1人1人が今まで以上に「超我の奉仕」を実践するようになれば、それは全ての変化をもたらす根源的な変化になるのではないかと問題提起をし、どうすればこのような変化を生じさせることができるかについて、参加者によるディスカッションをして頂き、考えを深めてもらったうえで、12月予定の職業奉仕セミナーの案内を行った。

なお、分科会の内容についてアンケートをとったところ、大変満足：28%、満足：51%、普通：15%、不満：4%、とても不満：2%であった。



社会奉仕部門

リーダー 半田 齊(相生)



初めに半田齊社会奉仕委員長（相生）がロータリーの戦略計画および社会奉仕理念の成り立ちについて説明し、「決議23-34」並びに「社会奉仕に関する声明（決議92-286）」をもとに、ロータリーの社会奉仕のあり方について確認しました。その後、瀧川ガバナーエレクトの当委員会への諮問事項、並びに本年度の活動方針について説明しました。

続いて3つの小委員会ごとに、次の通り発表がありました。

1. 地域活性小委員会

本條昇副委員長兼地域活性小委員長（龍野）から、地域活性小委員会の役割とクラブ支援メニューについて報告がありました。

地区補助金を活用した奉仕プロジェクトに関しては、事業立案のポイント、今年度の実績（全24件）と瀧川年度の申請案件（全28件）、クラブにとってのメリットなどが説明され、また地区奨学金（タイプ1）につき、今年度の実績報告と活用の呼びかけがありました。

情報共有に関しては、各クラブの社会奉仕活動について昨年7月に行ったアンケート結果を踏まえて、クラブ間の相互訪問、ロータリーファミリーとの協働、および広報の工夫に係る依頼・推奨がありまし

た。瀧川年度も昨年同様、7月中旬にアンケートを実施する予定です。

研鑽機会の提供に関しては、奉仕のケーススタディとして地区補助金プロジェクトの積極的な実地見学が奨励されました。定例の奉仕活動合同セミナーは、奉仕活動の具体的な運営・効果を学ぶ場として、11月12日（日）神戸と12月3日（日）豊岡の2会場で開催します。

2. 教育問題小委員会

山口元教育問題小委員長（神戸ベイ）から、発達障害理解のための地区やクラブの取り組みについて説明がありました。

地区主催の「学習障害理解のための実践講座」は、来年1月20日（土）に神戸芸術センターで開催されます。多くのロータリアンの参加をお願い致します。

3. プロバス小委員会

羽賀紘一プロバス小委員長（神戸西）から、プロバスクラブの概要並びにその支援のあり方および新規クラブ設立の方法について説明がありました。

社会奉仕委員会では上記3委員会が各クラブに於ける社会奉仕活動の支援に努めます。本年度も皆様のご協力を宜しくお願い致します。



国際奉仕部門

リーダー 瀧 浩一(神戸)



分科会は、ロータリー財団のグローバル補助金プログラム、その資金源、シェアシステム及び国際奉仕委員会の構成、補助金の種類、グローバル補助金の予備審査、クラブの参加資格認定、補助金小委員会との関わり等を私より説明したのちに、各小委員長より小委員会活動について説明して頂きました。

世界理解小委員会

安行英文次期世界理解小委員長 (三田)

基本的にクラブからの申請を成功に導くために地区小委員会が今までと同様にお手伝いを行うこと。クラブから地区にグローバル補助金の申請があれば、申請内容(6つの重点分野への関わりなど)や資金調達などを予備審査し、補助金小委員会にて最終審査し、地区財団活動資金(DDF)上乘せ拠出金の承認後に提唱者(クラブ)がロータリー財団にオンライン申請を行う。

奨学金小委員会

山本正二次期奨学金小委員長 (西宮夙川)

2017-18年度各補助金申請から実施までの流れ(配付資料)に基づき、奨学金の申請手続き及び各

クラブへの申請ご協力を説明。

6つの重点分野に関連したグローバル補助金奨学金及び地区奨学金(タイプ2とタイプ3)の予備審査をし、補助金小委員会で最終審査し、地区承認後に、提唱者(クラブ)がロータリー財団に申請を行う。

ロータリー平和フェローシップの募集・選考についても簡単に説明。

VTT小委員会

吉岡博忠次期VTT小委員長 (伊丹)

職業研修チーム(VTT)の説明及びこれまでのVTTの具体的な活動、申請手続き及びお願い事項について報告。

クラブや地区は、このVTTを支援するために地区補助金、グローバル補助金を使うことができます。また、当地区では奉仕プロジェクト特別会計も使用できます。

以上、各小委員会ともプロジェクターを使用し、『補助金申請・補助金管理マニュアル(改訂版)』を参考に説明しました。



青少年奉仕部門

リーダー 坂東 隆弘(柏原)



青少年奉仕部門の分科会には、インターアクト小委員会・長井彦一郎次期委員長、ローターアクト小委員会・中本広太郎次期委員長、RYLA小委員会・白井良夫次期委員長、青少年交換小委員会・白井務子次期委員長の4つの小委員会と危機管理委員会、黒田建一次期委員長、学友委員会、安行英文次期委員長にもご出席いただきました。また、今回、各小委員会次期委員の皆様にも分科会テーブルディスカッションのサポート・ファシリテーター役としてご出席いただきました。

先ず、坂東隆弘次期青少年奉仕委員長より、あいさつの後、ロータリーの誕生から第5部門の青少年奉仕部門ができるまでの必然的な流れと、「青少年奉仕とは」という青少年奉仕の目的、「人を育てる」「心を育てる」奉仕であることを説明しました。また、PETS開催時の会長エレクトの青少年奉仕部門アンケート結果発表を行いました。

そして、インターアクトを対象とした「前島国際青少年リーダー養成セミナー(MIYLS)」(8月10～13日・啓明学院前島キャンプ)の件、そして、全国規模の大会として、第10回全国RYLA研究会(2018年1月28日・神戸)並びに第2回日本RYLAセミナー(2018年5月24～27日・余島)の件、また、矢野年度から青少年交換をグループ単位で考え、枠を増やし、10名を目指し進めるとの方針も報告しました。各小委員会に関する解説資料、スケジュール等は資料として配付しており、細々とした説明は省略させていただきました。

各小委員会発表として、ローターアクト小委員会、中

本次期委員長より、今年度の第39回ローターアクト地区年次大会(6月18日・神戸)に、百聞は一見に如かず、是非参加して、ローターアクトをより身近に、直に理解してもらいたいとの紹介があり、ローターアクトクラブの会員増強についてもロータリアンの協力性をお話されました。

次に、RYLA小委員会、白井良夫次期委員長から、次年度の超過密なスケジュールをお話しされ、参加と支援とそして受講生の派遣をお願いされました。また、RYLA学友会の活躍にも触れ、セミナーの有用性を話されました。

インターアクト小委員会、長井次期委員長より、今年度6月に実施されるインターアクト顧問教諭とロータリアンの合同研修会(3～4日・姫路キャッスルホテル)への参加のお願いと、次年度の第35回インターアクト年次大会(8月20～21日・YMCA六甲)、次期リーダー講習会(11月19日・雲雀丘学園)そして、次年度のインターアクト顧問教諭との合同研修会(6月2～3日・姫路?)について報告の後、インターアクトに対する熱い思いを語られました。

次に、青少年交換小委員会、白井次期委員長より、青少年交換は1交換学生が3名のガバナー年度に及ぶ大変な事業であることと相手国があることでの信頼性、そのための継続性が大変大切だとされ、既に始まっている瀧川年度、またすぐに始まる矢野年度の派遣に対する体制づくりと支援をお願いされました。

危機管理委員会・黒田次期委員長から、青少年奉仕には必須の危機管理について解説があり、学友委員会・安行次期委員長からRIに学友会が承認され、これまでとは違う展開になるお話がされました。

そして、各テーブルで「青少年奉仕委員長として何をしようと思いますか?」というテーマで話し合い、情報交換を活発にさせていただきました。



ロータリー財団部門

副リーダー 石丸鐵太郎(神戸南)



1. ロータリー財団について (石丸リーダー)

ロータリアンの三大義務は、会費の支払、例会への出席、雑誌の購読。R財団への寄付は義務ではない。財団への寄付は義務ではない。それどころか、財団への強制寄付の禁止が理事会で決議。財団への寄付を名誉ととらえる会員は多数存在する。1947年、ポール・ハリスは、「葬儀に献花するな、碑をつくるな、そんなお金があるなら財団へ!!」との遺言を遺して亡くなる。その遺言に感動した多くの人びとから財団に寄付が寄せられ、その額は実に130万ドル、これをきっかけに財団は大きく成長、2015年6月末現在の資産額は9億4,600万ドル(約1,000億円)。年次寄付の各国の個人平均額(2014年度)は、台湾216ドル、韓国182ドル、日本134ドル、米国124ドル、ドイツ83ドル、インド66ドル。2680地区は1人平均130ドル、日本の平均以下。是非これを超えるように。

瀧川ガバナーの年次寄付の目標は一人年間15,000円。貧しい国の国民1人あたりの年間所得は、コンゴ民主共和国390ドル。会員1人15,000円にすると地区合計は約38万ドル。コンゴの子供1,000人を養える重い意味のある数字。15,000円は我々にとっては軽い金額だが重い価値を含んでいる。ぜひその持つ意味の理解を。

徹底した資金管理

財団は支出の88パーセントを財団のプログラムに使用。管理運営費は最小限。このことは財団が会員の寄付を大切にしている証拠。その結果、慈善団体

としての高い評価を受けている。

2680地区で素晴らしいことが。2013年から4年間、10才の双子の子どもが「サンタクロースからのプレゼントの半分をポリオ撲滅に」と1人5,000円ずつ財団に寄付。豊岡RCより、ポールハリスフェローの認証状が贈られた。皆さんも是非心からの寄付、お願い致します。

2. 続いて各副リーダーより各小委員会の説明があった。

資金推進小委員会(小出紀久男小委員長)、資金管理小委員会(飯田健一小委員長)、補助金小委員会(瀬戸徹小委員長)、ポリオプラス小委員会(喜多美雄小委員長)

3. グループ別テーブルディスカッション

テーマ「ガバナー諮問事項(ひとり15,000円の寄付達成に向けて)」の結果

尼崎：本日の分科会の内容を「尼崎6RC会長幹事会」で報告する。

阪神第1：寄付は個人の意思であるが、寄付金の使い方を説明して理解を得る。

阪神第2：寄付文化が根付いていない、丁寧に中身を説明し、寄付金が役に立っている話(本日米山奨学生体験談の様な事例話)をする。

阪神第3：財団の制度が複雑、理解しにくい。クレジットカード払い、ミリオンダラーミール等を活用する。

神戸第1：ひとり15,000円の意義を伝える。

神戸第2：寄付の重要性を認識させる。募金箱の活用。

東播第1、第2：会費と一緒に集金する。100ドルを目標→15,000円との説明必要ではないか？

東播第3：寄付強制は言いにくい。会費から控除。卓話で説明する。ニコニコから寄付に振り替える。

淡路・但馬：年会費から。会員の寄付額一覧表を張り出す。ボックスを回す。

西播第1、第2：100ドル→頭ごなしにいかない。もっていき方を工夫する。本日の様なビデオを全員に見せる。よく理解してくれれば寄付すると思う。

米山記念奨学部門

リーダー 秦 紳一郎(洲本)



1. リーダー秦が、米山記念奨学事業全般について説明をしました。
本事業の成り立ちから基本的理念、世話クラブとカウンセラー制度について、全国と地区の奨学生の人数、それから奨学生選考に至る手順、寄付金の使われ方や奨学制度の成果などを説明しました。
2. 全体会議でも講演いただいたよねやま親善大使の于咏さまより、活躍する学友のお話や、奨学生の方から見たロータリアンとのこと、奨学生との接し方、それから他の国際奉仕事業に奨学生や学友の協力を得ている例、奨学生が中学校などで講演して大成功している例などをお話し頂きました。
3. 永松副リーダーが、奨学生の選考について詳しく説明しました。
奨学生の人数の決定に至ること、指定校の決定に関すること、選考の基準、面接選考会のこと、世話クラブに関することなどを話しました。
4. 甲子園RCの中川尚美さんから体験を通じてカウンセラーの役割をお話し頂きました。

女性のベトナムからの奨学生だったことから、入会間もないのにカウンセラーを引き受けたこと、最初はかなり苦労したこと、不完全燃焼だったこと、でも楽しいこともいっぱいあったこと、米山月間に卓話に随行して他クラブを訪問したこと、またカウンセラーを務めたいことなどを話して頂きました。

5. 武本副リーダーが寄付金について説明をしました。
普通寄付金と特別寄付金の二種類あること、普通寄付金の必要性、特別寄付金の表彰のことを話しました。次に奨学会全体の収支の説明、管理費は全て利息収入で賄われていること、近年黒字が続いていることを話しました。当地区の寄付金額は34地区中17位であること、一人平均15,000円を目標にとお願いしました。

最後に会場からの質問に対してお答えし、積み残しは米山記念奨学セミナーにてお答えするとして分科会を終了しました。



ガバナー所感

ガバナー 室津 義定(尼崎中)



皆様、長時間にわたり大変ご苦勞様でした。

まず、瀧川好庸ガバナーエレクトからは、「次年度RIテーマと地区活動方針」についてお話がありました。RIの活動方針は、「ロータリー：変化をもたらす」のテーマのもとに、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」および「公共イメージと認知度の向上」を3つの優先事項とし纏められています。そして、地球の持続可能性のために「ロータリアン1名が1本の植樹を！」を行い、倫理を重視し「超私の奉仕」の共通理念のもとに、助けの必要な人たちに「変化をもたらす」、世界に、地域社会、人びとの人生に「変化をもたらす」ことがロータリーの責任だと説明されました。また、地区活動の基本方針は、諮問事項として示されました。

中村尚義次期地区研修リーダーからは、「元気なクラブを目指して」と題して、ロータリーの理念、クラブ運営のあり方、奉仕プロジェクトの推進について、示唆に富んだ講話をいただきました。

大内晋二次期規定審議委員長からは、規定審議委員会の活動内容、2016年規定審議會の主要な決定事項とクラブのあり方についての考えを述べられました。

ロータリー財団学友の佐藤恭子様は、ロータリー国際親善奨学生としての体験談とそれによって得られたものについて話されました。

米山親善大使の于咏様は、流暢な日本語で、米山記念奨学会活動の説明、同奨学会から受けた支援に対する感謝とその返礼として行っている活動について述べられました。

これらのスピーチを指針に、各クラブの次年度目標を設定するとともに、それに基づいてロータリー活動を推進していただくことをお願いして、全体会議の所感とさせていただきます。



国際ロータリー第2680地区 2017年5月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数					クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数				
				2016年 7月1日	当月末	増減	女性					2016年 7月1日	当月末	増減	女性	
尼崎6	尼崎	4	84.95	36	34	-2	1	東播第一4	明石	4	85.07	43	46	3	0	
	尼崎北	3	87.88	42	44	2	0		明石西	3	90.99	40	40	0	1	
	尼崎東	4	98.87	44	46	2	0		明石北	4	94.58	45	45	0	0	
	尼崎西	4	90.70	38	38	0	2		明石南	3	90.16	24	23	-1	0	
	尼崎南	3	95.63	31	35	4	4		小計		90.20	152	154	2	1	
	尼崎中	3	81.18	23	23	0	1		高砂	3	100.00	37	41	4	3	
	小計		89.87	214	220	6	8		加古川	4	85.57	76	77	1	0	
阪神第一6	伊丹	3	85.18	44	45	1	0	東播第二5	加古川中央	2	85.28	56	57	1	0	
	川西	3	96.59	32	32	0	5		高砂青松	4	90.70	42	44	2	2	
	伊丹有明	4	89.77	25	25	0	0		加古川平成	4	86.54	15	16	1	1	
	川西猪名川	4	87.50	22	21	-1	3		小計		89.62	226	235	9	6	
	伊丹昆陽池	3	96.66	12	10	-2	0		三木	3	99.28	54	53	-1	0	
	西宮イブニング	4	70.68	21	21	0	10		小野加東	4	91.10	40	44	4	1	
小計		87.73	156	154	-2	18	東播第三5	北条	4	100.00	36	35	-1	2		
阪神第二6	西宮	4	99.48	52	52	0		0	西脇	3	99.28	45	48	3	1	
	芦屋	4	83.72	43	44	1		0	三木みどり	4	96.09	32	32	0	0	
	甲子園	4	87.50	40	40	0		2	小計		97.15	207	212	5	4	
	西宮夙川	3	93.28	33	34	1		3	洲本	5	90.28	38	36	-2	1	
	芦屋川	4	87.79	27	28	1		3	南淡路	3	87.77	29	30	1	4	
	西宮恵美寿	3	77.33	25	25	0	6	淡路三原	3	97.00	21	21	0	0		
小計		88.18	220	223	3	14	淡路5	津名	4	86.44	38	37	-1	1		
阪神第三8	宝塚	4	95.83	22	24	2		2	あわじ中央	4	98.86	21	22	1	0	
	三田	4	84.89	22	21	-1		0	小計		92.07	147	146	-1	6	
	篠山	4	100.00	43	45	2		0	姫路	4	89.35	88	88	0	0	
	柏原	3	96.59	50	52	2		0	姫路南	4	95.92	79	77	-2	0	
	宝塚武庫川	3	87.88	36	37	1		0	姫路西	4	82.96	73	74	1	2	
	三田南	3	100.00	7	7	0	0	姫路東	4	100.00	67	69	2	2		
	宝塚中	4	92.79	34	33	-1	8	神崎	3	83.95	28	28	0	0		
	HYOGO REC	4	100.00	25	24	-1	6	姫路中央	3	100.00	5	4	-1	0		
小計		94.75	239	243	4	16	西播第一6	小計		92.03	340	340	0	4		
神戸第一6	神戸	3	84.30	151	155	4		2	西播第二4	赤穂	3	98.10	36	36	0	0
	神戸東	4	85.61	110	110	0		0		相生	4	100.00	40	40	0	2
	神戸東灘	4	93.54	31	33	2		3		龍野	3	95.76	49	49	0	5
	神戸南	4	83.03	80	82	2		0		上郡佐用	3	100.00	23	23	0	7
	神戸六甲	4	81.73	14	14	0		0		小計		98.47	148	148	0	14
	神戸ベイ	4	91.30	21	21	0	3	但馬5		豊岡	3	97.22	39	38	-1	0
	小計		86.59	407	415	8	8			生野	4	90.91	22	23	1	0
神戸第二7	神戸西	3	91.19	54	54	0	5		香住	4	95.57	14	15	1	0	
	神戸須磨	4	100.00	32	34	2	0		豊岡円山川	5	96.36	21	22	1	0	
	神戸北	3	79.64	22	20	-2	1		和田山	3	88.89	21	24	3	2	
	神戸垂水	3	92.15	31	29	-2	5		小計		93.79	117	122	5	2	
	神戸西神	3	95.40	37	35	-2	0	合計		73RC	91.42	2,831	2,848	17	116	
	神戸中	4	85.91	39	39	0	3									
	神戸モーニング	3	72.22	21	25	4	1									
小計		88.07	236	236	0	15										

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2016年7月1日 クラブ会員数……………2,831人
 ◆2017年5月末 クラブ会員数……………2,848人

◆2017年5月末女性会員数…………… 116人
 ◆2017年5月平均出席率……………91.42%
 ◆増減…………… 17人増

※2016年12月末神戸ハーバーRC脱会、2017年3月末神戸有馬RC脱会